



第22回 外国人技能実習生・研修生日本語作文コンクール

# 優秀作品集 2014

The Award-winning Essays Collection of Japanese essay contest for technical interns and trainees

外国人技能実習生・研修生 日本語作文競演 優秀作品集

公益財団法人 国際研修協力機構

## はじめに

技能実習生・研修生が、心身共に健康で、より充実した実習・研修生活を送るには、周囲の人と交流を深め、豊かな人間関係を築くことが大切です。そのためには日本語でコミュニケーションする力をつけることが不可欠であり、JITCO では技能実習生・研修生の日本語力向上を目指して各種の日本語教育支援を行っております。

なかでも日本語作文コンクールは、1993年のスタート以来、長年にわたって皆様に親しまれ、日本全国の技能実習生・研修生の、力と心をこめて書き上げられた作文が一堂に回す場としてJITCO の重要な事業のひとつとなっております。

22回目を迎えた本年は、2,387編の作品が寄せられ、3段階に及ぶ厳正な審査を経て、最優秀賞4編、優秀賞5編、優良賞19編、佳作21編を選出し、計49編をこの「優秀作品集」に収めました。

それぞれの作品から、そして選外の多数の作品からも、母国から遠く離れた日本で大変な思いをしながら技能実習・研修、日本語習得に意欲をもって取りくむ姿が読み取れ、本コンクールの意義をあらためて実感いたします。

ここに、作品を寄せてくださったすべての応募者の皆様に心より敬意を表すると共に、技能実習生・研修生に力添えをしてくださった関係諸機関の皆様にも厚く御礼申し上げます。

本作品集が、技能実習生・研修生たちの、日本語学習へのさらなる意欲につながること、そして関係諸機関はもちろん広く一般の方々に技能実習生・研修生への理解を深めていただくことの一助となることを強く祈念いたします。

2014年10月

公益財団法人 国際研修協力機構  
理事長 鈴木 和宏

# 目 次

応募状況と審査過程	1
講評	2
作品集 (49編)	
入賞者一覧	7
<b>最優秀賞 (4編)</b>	
グエン スアン ダイ NGUYEN XUAN DAI (ベトナム)	温かな明かり…………… 8
刘 青艳 LIU QING YAN (中国)	「ありがとう」がくれたエネルギー……………10
刘 曼曼 LIU MAN MAN (中国)	謙虚は人を進歩させ、傲慢は人を退歩させる……………12
江 敏 JIANG MIN (中国)	心の「ドラえもののポケット」……………14
<b>優秀賞 (5編)</b>	
ファム ジャ チュアン PHAM GIA CHUAN (ベトナム)	誤解から理解へ……………16
グエン タイン トゥアン NGUYEN THANH TUAN (ベトナム)	成功の鍵……………18
ファジャル チトラ ギンティン FAJAR CITRA GINTING (インドネシア)	大きな美しい花を！……………20
周 霞儿 ZHOU XIA ER (中国)	心をつなぐ交換日記……………22
聂 雯健 NIE WEN JIAN (中国)	五感を使おう……………24
<b>優良賞 (19編)</b>	
ヴー ティ トゥイ VU THI THUY (ベトナム)	真心込めた物作り……………26
陈 新 CHEN XIN (中国)	何事でも真剣が大事……………27
刘 丽丽 LIU LILI (中国)	収穫の始まり……………28
蔡 立敏 CAI LI MIN (中国)	誤差……………29
陈 玉芝 CHEN YU ZHI (中国)	実習の旅……………30
姜 海洋 JIANG HAI YANG (中国)	日本人の「両面性」……………31
グエン ゴック ホアイ トゥオン NGUYEN NGOC HOAI THUONG (ベトナム)	チャンス……………32
王 梦洁 WANG MENG JIE (中国)	日本製……………33
马 甜 MA TIAN (中国)	気づく力……………34
バラガ エドワード ジュニア オソリオ BALAGA EDUARDO JR. OSORIO (フィリピン)	挨拶のチカラ……………35
汪 瑞瑞 WANG RUI RUI (中国)	私たちみんな責任者……………36
グエン シー トゥアン NGUYEN SY TUAN (ベトナム)	やる気があれば何でもできる……………37
刘 洋 LIU YANG (中国)	日本人は義理人情に厚い……………38
吕 宛君 LU WAN JUN (中国)	最初が肝心……………39
グエン レ キム ガン NGUYEN LE KIM NGAN (ベトナム)	一回の油断から学んだ教訓……………40
雷 晓英 LEI XIAO YING (中国)	技能実習で経験したこと……………41
ファン ティ フィン チャー PHAN THI HUYNH TRA (ベトナム)	蜜蜂と蠅の話です……………42
杨 洋 YANG YANG (中国)	仕事をする時の心構え……………43
フィ ティ マイ フーン PHI THI MAI PHUONG (ベトナム)	逃走！悪事、止めて。……………44

佳作 (21編)

丛 萍 CONG PING (中国)	5 S……………45
顾 绍英 GU SHAO YING (中国)	仕事の中で喜びを見つけます……………46
韦 新荣 WEI XIN RONG (中国)	私が職場で得たこと……………47
迟 桂凤 CHI GUI FENG (中国)	技能実習と品質……………48
黎 彩霞 LI CAI XIA (中国)	日本実習の感想……………49
常 丽娜 CHANG LI NA (中国)	頑張ることを間違っ……………50
李 夏青 LI XIA QING (中国)	温もりと成長……………51
庄 晓 ZHUANG XIAO (中国)	見学……………52
贾 梅 JIA MEI (中国)	協力……………53
高 晓凤 GAO XIAO FENG (中国)	言葉と交流について……………54
宋 愿 SONG YUAN (中国)	厳しさも愛情……………55
申 筱笛 SHEN XIAO DI (中国)	失敗から勉強した事……………56
张 露 ZHANG LU (中国)	成長の足跡……………57
于 利 YU LI (中国)	厳しい研修こそ、成長ができる……………58
赵 婷婷 ZHAO TING TING (中国)	中日文化の違いについて……………59
公 茂存 GONG MAO CUN (中国)	日本で実習生活を送る……………60
丁 妍 DING YAN (中国)	成長への道……………61
罗 思锐 LUO SI RUI (中国)	日本での仕事と生活……………62
文 祖兰 WEN ZU LAN (中国)	一生忘れない人……………63
レ ティ モン トゥオン LE THI MONG TUONG (ベトナム)	「平仮名」という伊呂波から教訓……………64
郭 学峰 GUO XUE FENG (中国)	平凡なこと……………65

## 応募状況と審査過程

### 1. 応募総数 2,387編

#### 国籍別内訳

中国	1,961編
ベトナム	294編
インドネシア	65編
モンゴル	28編
タイ	21編
フィリピン	17編
カンボジア	1編

### 2. 審査過程

審査は、例年どおり3段階で行った。第1次審査はJITCO職員が担当し、内容と日本語能力の観点から、上位49編を選出した。続く第2次審査では、JITCO役員5名による総合評価に基づき、28編が選ばれた。最終審査では、外部有識者を含む5名の委員が審査に当たり、審査委員会における協議を経て、最優秀賞4編、優秀賞5編、優良賞19編の入賞作品及び佳作を決定した。

#### 最終審査委員

委員長	関口 明子	(公益社団法人国際日本語普及協会 理事長)
委員	坪田 秀治	(日本商工会議所 参与)
委員	関野 陽一	(山梨英和大学 人間文化学部人間文化学科 教授)
委員	鈴木 和宏	(公益財団法人国際研修協力機構 理事長)
委員	新島 良夫	(公益財団法人国際研修協力機構 専務理事)



## 講 評

審査委員長 関 口 明 子

JITCO の作文コンクールは本年22回になります。20年を超える長い歴史のなかで技能実習生・研修生の日本での実習・研修の立場や形は時代と共に変わってきています。しかしその間この作文コンクールは続いてきました。

今年は、作文のテーマを「技能実習・研修の現場で体験したこと」に設定しました。昨年まではテーマは自由だったのでいろいろなテーマの作品がありましたが、今年はテーマが限定されていまして、すべての作品が、技能実習生・研修生らしいものでした。パターンとしては、来日して言葉も習慣も何もわからない状態で一生懸命頑張った。少しずつ分かるようになってきたが、失敗をして上司に叱られる。しかし、なぜ叱られたかの真意が理解できなかったが、あることがきっかけでようやく理解ができ、自分の理解の浅さに気づき反省。初めていろいろなことが分かり、上司への感謝の気持ちと共にこの学びを母国でも生かしたい。まさに技能実習生・研修生が必死で現場で頑張り、学んでいく姿そのものです。今回の技能実習生の作文審査は今までになく審査委員泣かせのものでした。昨年も傑作ぞろいで優劣をつけるのに困りましたが、それ以上に今年は、どの作品もそれぞれの現場での苦勞が描かれており、本当に甲乙付けがたいということはこういうことなのだと言審査員一同実感しました。

そのような状況の中で、選ばれた最優秀作品4点の違いは作品が与える感動の大きさでした。グエン スアン ダイさん（ベトナム）「温かな明かり」は自分が作った照明柱を見に行ったとき「僕は涙があふれてきました。ほくはすごい仕事をしていると誇らしい気持ちになった」「この明かりが人々の安全に役立っている」と実感した状況が実に生き生きと書かれていました。審査員全員がまさにその場にいたかのように引き込まれてしまいました。気負いもなく素直な表現に心を打たれました。素晴らしい作品です。刘青 艳さん（中国）「『ありがとう』がくれたエネルギー」。刘さんはある日課長からありがとうと書かれたクッキーを渡された。これはお客さんからいただいたもの。家が火事になり、2階にいた子どもが「火事です。火事です」という警報器で逃げ出して助かった。自分たちが作っている警報器が人の命を救った。「本当にありがとうございます」という感謝のクッキーだった。このありがとうで刘さんは自分の仕事への誇りと責任を感じ、それ以後の仕事への向き合い方が変わった。自分の言葉で書かれた刘さんの文は審査員の心に響きました。刘 曼曼さん（中国）「謙虚は人を進歩させ、傲慢は人を退歩させる」このタイトルは中国の諺であるが、自分はすっかり忘れてしまっていた。何もわからなかった自分に親切に教えてくれた先輩に対して、自分がかかりわかるようになってからは、生意気になって先輩のいうことも聞かずに自信過剰になっていた。あるとき大変な失敗をしてしまい、何とか直そうと思ってもできない。でも先輩には

聞きたくない。そんなとき静かにそっと、黙って直してくれた先輩は「刘さん、もう大丈夫だよ」と言った。生意気な口を聞いてばかりいた自分に。先輩へのお詫びと感謝の気持ちが素直に綴られている。江敏さん（中国）「心の『ドラえもののポケット』」班長の質問に面倒で適当に答えた。それなのに班長は何回もそばで見ていて自分の仕事がし易いように棚の位置をかえてくれた。内容は他の人の作品にも共通している仕事上の小さなできごとであるが、心の中の動きが実にうまく書かれている傑作です。

優秀賞の5人、ファム ジャ チュアンさん（ベトナム）は仕事と日本語に頑張っていて、今や指導係りをしている2年半のことを、グエンタイン トゥアンさん（ベトナム）は35トンもある大きな釣鐘作りで学んだこと、ファジャル チトラ ギンティンさん（インドネシア）は悲しみのどん底にあるときに励みになる言葉を教えてくれた友人のこと、周霞儿さん（中国）は会長さんとの交換日記で学んだこと、聂雯健さん（中国）は五感を使うことで日々の仕事が変わったことを、それぞれ新鮮な感覚と素直な言葉で書かれていて心を打たれました。

今回の審査を終えてこの貴重な作品群こそまさに JITCO と監理団体、実習実施機関との連携での技能実習生・研修生への真摯な取り組みを象徴的に表していると実感しました。これからもきっと外国人技能実習・研修制度は時代と共にいろいろ変化していくことと思いますが、今まで長い間かかって築いてきた JITOCO の地道な努力の上にこの制度がなりたっていることを皆様を知っていただきたいと思います。そしてこのすばらしい作文コンクールが長く長く続いてほしいと願っています。

# 作 品 集

※作品は、原文のまま掲載しています。

## 「第22回外国人技能実習生・研修生日本語作文コンクール」入賞者一覧

### ■最優秀賞■

氏名	作品タイトル	国籍	職種	実習実施機関	監理団体
グエン スアン ダイ	温かな明かり	ベトナム	溶接	株式会社山口製作所	鹿沼機械金属工業協同組合
刘 青艳	「ありがとう」がくれたエネルギー	中国	電子機器組立て	紀南電工株式会社	ELC 事業協同組合
刘 曼曼	謙虚は人を進歩させ、傲慢は人を退歩させる	中国	電子機器組立て	株式会社富山精研社	富藩国際事業協同組合
江 敏	心の「ドラえもんポケット」	中国	電子機器組立て	株式会社エヌビーシー	公益財団法人日中技能者交流センター

### ■優秀賞■

氏名	作品タイトル	国籍	職種	実習実施機関	監理団体
ファム ジャ チュアン	誤解から理解へ	ベトナム	機械加工	株式会社寶角ギヤー	ビジネス・コープ協同組合
グエン タイン トウアン	成功の鍵	ベトナム	鋳造	株式会社老子製作所	協同組合 CEO
ファジャル チトラ ギンティン	大きな美しい花を！	インドネシア	機械加工	株式会社石渡螺子製作所	公益財団法人国際人材育成機構
周 霞儿	心をつなぐ交換日記	中国	婦人子供服製造	有限会社ブチレダ	PNJ 事業協同組合
聂 雯健	五感を使おう	中国	食品加工	テーブルマーク株式会社	公益財団法人日中技能者交流センター

### ■優良賞■

氏名	作品タイトル	国籍	職種	実習実施機関	監理団体
ヴー ティ トゥイ	真心込めた物作り	ベトナム	機械加工	シバタ精機株式会社	福岡素形材産業協同組合
陈 新	何事でも真剣が大事	中国	電子機器組立て	旭電器工業株式会社	ELC 事業協同組合
刘 丽丽	収穫の始まり	中国	電子機器組立て	株式会社日本アシスト	協同組合企業交流センター
蔡 立敏	誤差	中国	婦人子供服製造	株式会社伊予繊維	えひめファッション産業協同組合
陈 玉芝	実習の旅	中国	プラスチック成形	米新工業株式会社	静岡県経友会事業協同組合
姜 海洋	日本人の「両面性」	中国	印刷	株式会社グラフィック	オービーシー協同組合
グエン ゴック ホアイ トウオン	チャンス	ベトナム	電子機器組立て	株式会社ナカニシ	鹿沼機械金属工業協同組合
王 梦洁	日本製	中国	婦人子供服製造	株式会社 YUMEMIDO	福岡アパレル協同組合
马 甜	気づく力	中国	プリント配線板製造	エヌシー産業株式会社	関西経友会事業協同組合
ハラゴ エドワード ジュニア オソリオ	挨拶のチカラ	フィリピン	鋳造	日立金属株式会社	協同組合フレンドニッポン
江 瑞瑞	私たちみんな責任者	中国	婦人子供服製造	株式会社ミック	福岡アパレル協同組合
グエン シー トウアン	やる気があれば何でもできる	ベトナム	印刷	株式会社グラフィック	オービーシー協同組合
刘 洋	日本人は義理人情に厚い	中国	プラスチック成形	九州ティ・エス株式会社	ELC 事業協同組合
吕 宛君	最初が肝心	中国	紙器・段ボール箱製造	有限会社ソノダ	オービーシー協同組合
グエン レ キム ガン	一回の油断から学んだ教訓	ベトナム	耕種農業	ホクト株式会社	東西商工協同組合
雷 晓英	技能実習で経験したこと	中国	電子機器組立て	ディーピーティー株式会社	ティー・アイ・シー協同組合
ファン ティ フィン チャー	蜜蜂と蠅の話です	ベトナム	耕種農業	ホクト株式会社	東西商工協同組合
杨 洋	仕事をする時の心構え	中国	電子機器組立て	株式会社ミックコントラクトサービス	エコノ協同組合
フィ ティ マイ フーン	逃走！悪事、止めて。	ベトナム	電子機器組立て	株式会社 INAX 総合サービス	関東情報産業協同組合



## 温かな明かり

グエン スアン ダイ  
NGUYEN XUAN DAI

日本に来てもうすぐ2年が経とうとしています。ぼくは溶接の仕事をしています。この2年間でトラックの部品や建設機械の部品など、さまざまな製品を作りました。その中でも、素晴らしい体験をしたことがあります。

ぼくが勤めている会社では電線類地中化工事で使われる照明柱を作ります。いろいろな溶接作業の中でも、照明柱の仕事は完成するまで2ヶ月もかかり、とてもたいへんな仕事です。社長から「パイプに穴を開けたところは、ケーブルが傷つかないように、きれいにサンダーをかけてくださいね。」「溶接ビードをそろえて誰が見てもきれいに見えるよう溶接してくださいね。」と何度も指導を受けながら丁寧に仕上げていきます。作業の時、照明柱は横たわっていて、製品として完成した後、どんなところで、どう使われているのか、まったく知りません。照明柱の完成間近、溶接作業をしていたときです。社長が「どう？ダイさん。自分の作った照明柱を見てみたいかい？」と、声をかけてきました。ぼくはとても嬉しい気持ちになり、社長に頼んで、ぼくの作った照明柱を見に連れていってもらいました。

それは、東京の真ん中にある商店街に設置されていました。ぼくの想像よりもはるかに大きく立派に立っていました。自分で完成させた照明柱を見た時、ぼくは感動のあまり涙があふれ

てきました。「ぼくは、すごい仕事をしている！」と、とても誇らしい気持ちになり、溶接職人としての喜びを感じた瞬間でもありました。それと同時に、作業中ぼくに根気よく何度も指導してくれた、社長の気持ちも初めて理解したのです。

夕方になると、照明柱には明かりが灯され温かな明かりが歩行者の足元を照らし、人々の暮らしの安全のために、たいへん役立っています。

ぼくは日本に来て、多くの技術を身に付け溶接職人としての喜びを実感することができました。技術だけではありません。製品を最後まで丁寧に、心を込めて仕上げることの大切さも教えていただきました。これはぼくにとって、掛け替えのない大きな財産です。そして今、2年前とは明らかに違う自分がここにいます。

ぼくの住むベトナムでは、日本のように立派な照明柱は、まだありません。ぼくの溶接技術も日本人の職人さんにくらべたらまだまだ未熟ですが、残りの1年、今よりもさらに技術を高め、東京で見たあの商店街のように温かな明かりをベトナムの街に灯したいと思っています。

## 受賞の喜び



グエン スアン ダイ

国 籍 ベトナム  
職 種 溶接  
実習実施機関 株式会社山口製作所  
監 理 団 体 鹿沼機械金属工業協同組合

最優秀賞という素晴らしい賞をいただき、とても感激しています。

社長と一緒に東京に出かけて、道の両側に自分が作った大きな照明柱を見た時の感動、誇りを、作文に書きたいと思い、今回応募しました。

ぼくが実習生として、この2年で得たものは、技術や技能だけでなく、温かい日本の職人さんの「心」なのです。このような貴重な経験ができたのも、実習生のことをいつも気にかけてくださっている会社の社長さん、社員の皆さん、いつも励まし合っている仲間がいてくれたからだ、とても感謝しています。

最後になりますが、ご指導してくださいました組合の先生や、関係者の皆様、本当にありがとうございました。そして、なによりも、この機会を与えてくださいました JITCO の皆様に、心より感謝申し上げます。



## 「ありがとう」がくれたエネルギー

刘 青 艳  
LIU QING YAN

日本に来てから「すみません」の次に「ありがとう」が、よく聴く言葉です。ありがとうからなにか伝わってきますか？

何もないければ「ありがとう」という言葉は平凡な言葉です。私を知る限り、たとえ親しい友人でも、相手にお茶を入れたりすれば、「ありがとう」とつい口に出すような言葉。

さらに、同じ会社の人たちは、旅行に行くとお土産を持って帰ってくる習慣があります。

そのつど「ありがとう」と言うけれども、何度も言ううちに、はじめてお土産をもらったときの感動や、感謝の気持ちが薄れ、自分が言った最初の「ありがとう」よりも、心がこもっていない気がします。時間がたつと、次第に本当の意味もおろそかになっているのではないだろうか。

毎日同じような日の繰り返しで、このまま三年間の実習が終わってしまうの？そう思っていたときでした…。課長が、一人ひとりに、「ありがとう」と書かれたクッキーを配りました。真剣な表情で、「これは住宅火災警報器を使ってくれていたお客様からいただいたものです。」意味深な表情で話を続けます。「少し前、この家族の家の二階から出火したそうです。その時、大人は一階で過ごしていて、二階には子供が遊んでいました。もし、この火災警報器の「火事です！火事です！」の警報がなければ、どう

なっていたことでしょう。「ありがとうございます。つまらないものですが、せめてものお礼の気持ちに。」とクッキーをくれたのです。

私が入社して以来、初めて感動し、初めて自分たちが生産したものに誇りを持てた瞬間でした。手のひらに持ったクッキーは、小さいのに、とても重みを感じました。心の奥底からこみ上げるものがありました。これが責任なのか！このありがとうが、私の心をととても重くします。

今までの何気ない仕事が変わりました。物をひとつ作ると同時に、何にも変えられない価値がそこに生まれるのだとわかりました。毎日私たちの手から送り出される何千個もの目覚まし時計のような警報器。火災から家庭を守り、出火しても助けてくれているのです。

このように私たちが、毎日ラインで生産しているものには、大きな価値があるのです。もし私が仕事で疲れても、お客様からもらった、安全・信頼の声を思い出し、やる気を出すのです！

「ありがとう。」に感謝します。気持ちを表す以外にも、人の気持ちを動かすことができるなんて。今後、もっと感謝の気持ちを持って生活し、すばらしい人生の価値を見出したいです。

# 受賞の喜び



刘 青艳

国 籍 中国  
職 種 電子機器組立て  
実習実施機関 紀南電工株式会社  
監 理 団 体 ELC 事業協同組合

私は夏期休暇を利用して旅行中の時に会社の上司から電話が入りました。その声は「おめでとう！あなたの作文が最優秀賞に選ばれたよ！」その話しを聞いた瞬間、自分の耳を疑ってしまいました。

こんな素晴らしい賞を頂けるなんて夢ではないかと思いました。正直、今でも信じられないのが率直な気持ちです。私にとっては、これからの研修生活、そして将来の私に向けて大きな自信になります。

今まで、私に日本での生活の仕方や日本語を熱心にそして優しく指導してくれた会社のみなさん、そして組合の方々に深く感謝いたします。

また、このチャンスを与えてくれました、JITCOの皆様に、お礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。



## 謙虚は人を進歩させ、傲慢は人を退歩させる

刘 曼 曼  
LIU MAN MAN

故郷中国には、謙虚は人を進歩させ、傲慢は人を退歩させるという諺があります。しかし、日本に来てから私はこの諺をすっかり忘れてしまったようです。

去年の6月、私は大きな夢を抱き日本に来ました。ワクワクとドキドキが止まりません。日本に来る前に、私は大連の日系企業で仕事の経験あり日本人の仕事の仕方は十分に身に付けていたので、不安は1ミリもなく、それどころか、私ならきっと誰からも素晴らしいと言われるだろうと自信に満ち溢れていました。

会社での実習は、日本人の男性〇〇さんと組んで仕事をしました。〇〇さんは何でも親切に教えてくれました。私の意見も私流の仕事の仕方も聞き入れてくれました。毎日楽しくて仕方ありませんでした。半年くらい経つと、私は〇〇さんから注意される事が少なくなり、私は完璧に仕事をマスターしました。その頃から私は〇〇さんと意見の食い違いから衝突するようになり、私の〇〇さんへの不信感は大きくなり彼にアドバイスを求めなくなりました。

ある日、私の生産ラインに新しい部材が運ばれて来ました。今までの経験を活かし作業しましたが寸法が合わなかったので、機械の調整を熟知していると思っていた私はここぞとばかりに機械を調整しました。でも、何故か今回は治りません。〇〇さんは私の苦戦ぶりを見て「大

丈夫ですか？」と声を掛けて来ました。私は〇〇さんを相手にせず機械の調整を続けました。彼は「見せて」と言い、顕微鏡でほんの数秒部品を確認しました。イライラしていた私は〇〇さんに「見るだけで何がわかりますか？偉そうに！」と言い返し機械の調整を続けました。でも、時間だけが過ぎ「何であんな事言い返したんだろう。いいえ、〇〇さんの言うとおりにする事は自分のプライドが許さない」と言う思いばかりが頭に浮かび、もう調整どころではありませんでした。その様子を見ていた〇〇さんは、黙って材料を交換し部品を1個作り私に言いました。「劉さん、もう大丈夫だよ」と。信じられず検査してみると魔法をかけられたように、寸法がぴったりでした。その瞬間、頭に「謙虚は人を進歩させ、傲慢は人を退歩させる」が浮かびました。私は恥ずかしさから顔が真っ赤になり「すみません、ありがとうございます。」と言い続けるしかありませんでした。私も大切な事を思い出させる魔法を掛けられました。そして、日本のモノづくりが世界中に賞賛されるのはこの魔法だと思いました。あの魔法から、新しい発見や体験・勉強の連続で毎日をもっと楽しくなりました。私は日本に来て良かったと心から思いました。

# 受賞の喜び



刘 曼曼

国 籍 中国  
職 種 電子機器組立て  
実習実施機関 株式会社富山精研社  
監 理 団 体 富瀆国際事業協同組合

私の作文「謙虚は人を進歩させ、傲慢は人を退歩させる」が今回の作文コンクールで最優秀賞に選ばれたことに、驚きと喜びでいっぱいです。管理者の方も実習生の仲間も自分のことのように喜び、私を祝ってくれました。その時のことは私の記憶に深く刻まれていて、私の最も幸せな瞬間になりました。

まず、主催者の皆様から今回の作文コンクールの参加チャンスを頂いたことと最高の評価を頂いたことについて、厚くお礼を申し上げたいと思います。又、今回の受賞は私一人の力だけではなく、会社の管理者の方々、組合の先生達、仕事の仲間に支えてもらったおかげです。

人生の中で一番よい時に日本に来たこと、富山精研社に入ってきたことを心から誇りに思います。会社と組合の教育を通して、上司と仕事の仲間の協力の中で自分が成長でき、人生に輝きを持たせることができました。

日本では後2年間あります。残りの実習期間では自分の勉強したものや力を出して、一生懸命取り組んで行きたいと思います。



## 心の「ドラえもののポケット」

江 敏  
JIANG MIN

私は子供の頃から日本のアニメ「ドラえもん」が大好きです。困った時はポケットから次々と「魔法の道具」を取り出すのが好きで私もそんなことが出来たらいいなあと心の中に同じようなポケットがあるように考えています。日本に来たこの1年でそれまでのポケットの中身に対して不思議な事や考えを見直した事がたくさんありました、そんな体験を話そうと思います。

研修センターを卒業し、現在の会社を見学した時の印象は、会社のドアを開けたとたん外と完全に違う世界が現れました、色々な機械が並び声も聞き取れないほどの騒音です。

まるでドラえもんの「魔法のドア」を開いたみたい印象でした。1日の見学が終わって不思議に思ったことは工場の床にラインテープで線がたくさん描いてあり、棚や機械などはその指定された所に置いてあります。

日本に来る前に「日本人はどんな事でも真面目に対応する」という噂を聞いた事がありますが「そこまでする必要があるのかなあ？」と可笑しく思いました。

ある日班長は「ラインテープとハサミ」を持って現れ、「基盤供給棚の置場を決めるけど、このままでやりづらくない？」と私に聞きました。面倒くさいという思いから「大丈夫です」と返事をしてしまいました。実は言った事とっている事が全然違いました。置場が近すぎました。基盤を出す時に落ちる可能性があり、少し後ろに移動すればよかったと、言った後で少し

悔やみました。

翌日、班長がまた「テープとハサミ」を持って私の作業する様子をじっと見ていました見られれば見られるほど緊張し、嘘を言ったことがすぐバレるのでは？とドキドキしている時「やっぱり少し後ろへ移動しましょう」と笑って言われました、私は「なぜそんな事が分かるの？なぜ何も言わなかったのにどうして？」と恥ずかしくて声もでませんでした「バカ・バカ！可笑しいのは自分じゃないの置場でも勝手に適当に決める事じゃない、何回もの検討と実験を繰り返して決められたものなんだ、こうして最良の方法を見つけてゆく態度が重要なんだ」と思って、班長の行動が何か分かったような気がしました。

今まで自分たちの意見なんか無視されるに決まっているから、真面目に言っても仕方がない」と割り切っていた自分の考えを恥ずかしく感じ、そんな気持ちに気づいた私は自分の心の成長に今回の経験がきっとプラスになるだろう、心の「ドラえもんのポケット」の中身がまたひとつ増えたんだ！と感じ、ドキドキしました…。

人生はまるで「長距離バス」に乗っているようで、始まりと終点以外は、途中どんなところを通るのか誰にも分からないのです、私はその途中経過を楽しみにしています。日本での充実した3年間を過ごせるように頑張りたいと思います！。

## 受賞の喜び



江 敏

国 籍 中国  
職 種 電子機器組立て  
実習実施機関 株式会社エヌビーシー  
監 理 団 体 公益財団法人日中技能者交流  
センター

今回、最優秀賞をいただき誠にありがとうございました。

この結果を耳にした時は唖然としてしまいました。3ヶ月前に作文コンクールに応募したことも忘れていましたから、本当に驚きました。「まさか冗談じゃないですか」と思ったほどです。

1年前、初めて日本に来たとき不安でしたが幸い仕事でも生活面でも日本人は優しくしてくれました。それだけでも異国で生活している私にとってどれ程、勇気をもらえるかは自分しか分かりません。

この賞は私一人のものではないと思います、これはいつもどんなに変な質問をしても詳しく説明していただいたボランティアの先生方や会社の上司・先輩のおかげです。

いつも支えていただいて心からありがとうございます。

最後に、この光栄を授与してくださった JITCO の皆様に深く感謝いたします。

これからも自分の目標へ一歩ずつ前に進めるように頑張っていこうと思います。

本当にありがとうございました。



## 誤解から理解へ

ファム ジャ チュアン  
PHAM GIA CHUAN

私は、二年半前に、ベトナムから、技能実習生として来日しました。私が働いている会社では、旋盤などの工作機械を使って、歯車などを作っています。

仕事を始めて早速、困ったことがありました。日本語を聞くことです。仕事をする際に危険なことや注意しなければならないことについての説明を受けましたが、難しい日本語ばかりでしたので、ほとんど理解できませんでした。それで、このままでは困ると思い、毎週日曜日に、近くにある「ボランティアによる日本語教室」に通って、必死に勉強しました。すると、それまでは分からなかった日本語による説明が、少しずつ理解できるようになりました。一生懸命努力をすれば何とかなるものだなあと思いました。

次に、日本語を読むことにも困りました。機械の操作説明書は日本人向けで、難しい漢字が沢山書いてあるので弱りました。しかし、職場の日本人は、困っている私の様子を見て、漢字の読み方や意味を教えてくださいましたので、スムーズに機械の操作ができるようになりました。

また、日本とベトナムとでは、必要とされる製品の精度が異なっているので、大変戸惑いました。ベトナムでは許容範囲の製品であっても、日本の厳しい基準では不合格となってしまうものが沢山ありました。日本の製品が高品質である秘密がわかりました。

ところで、最初、私は、職場の人は、皆が皆、

優しい人ばかりではないように感じました。私は、慣れない仕事で沢山の失敗をしてしまいましたが、私の指導係の人に失敗の原因を尋ねても、大きな声で怒られてばかりでした。それで私は、同じ失敗を繰り返してしまいましたので、部署の班長に相談しました。その後、班長から説明を受けたところ、指導係の人は怒っているのではなく、私がよく気をつけるように、大きな声で失敗の原因を教えてくれていたのです。声が大きいいというだけで、話の内容をよく聞かずに誤解していた私は、人と積極的に理解し合おうとする姿勢に問題があったと思います。

それからは、指導係の人とも打ち解け、新しい仕事も容易に覚えられるようになり、今では、担当するラインにある全ての機械の操作方法がわかるまでになりました。

今、私は、私の後にラインの担当となるベトナム人技能実習生の指導係です。後輩が理解できるようになるまで、何度も説明して、疑問を残さないように心掛けています。人を指導していると、なるほどこういうところが分かりにくいのだなあと、改めて気づかされることが多々あり、とても勉強になります。

私が日本で学んだ最も重要なことは、人と人とのコミュニケーションを人切にして、相手によくわかってもらえるように努力しなければいけないということです。このことは、将来、ベトナムに帰ってからの仕事でも、きっと役に立つことでしょう。

## 受賞の喜び



ファム ジャ チュアン

国 籍 ベトナム  
職 種 機械加工  
実習実施機関 株式会社竇角ギヤー  
監 理 団 体 ビジネス・コープ協同組合

日本語は、「話し言葉」と「書き言葉」が同じではありません。私は、日本語を話して生活しているので、「話し言葉」は上達しましたが、「書き言葉」は、なかなか上達しません。

そこで、「書き言葉」の練習をしようと思い、このコンクールに応募しました。少し背伸びをして、自分にとって難しい漢字や表現も調べて、一生懸命作文を書きました。

この度、多くの応募者の中から優秀賞を頂くことができ、とても嬉しく思います。ベトナムの家族も、大変、喜んでくれました。私が受賞できたのは、実習先である株式会社竇角ギヤーや監理団体であるビジネス・コープ協同組合の皆様など、私を支えてくださっている多くの方々のお陰です。

私は、間もなく、ベトナムに帰らなければなりません、これからも日本語の勉強を続けていきます。今後の日本語学習に大きな励みとなる貴重な機会を提供して下さったJITCOの皆様、ありがとうございました。



## 成功の鍵

グエン タイン トゥアン  
NGUYEN THANH TUAN

私が日本に来てから、いつの間にか一年半が経ちました。この期間の実習を通じて多くのことを学び、色々なことが分かりました。

私が勤める会社は鋳物工場です。おもに日本のお寺に有る釣鐘や仏像など大きなものを製作しています。私が勤め始めてから間もなく三十五トンも有る特別大きな釣鐘を作り始めることになりました。会社ではこのような大きな仕事をいつもやっていることは無いので、その仕事に参加させてもらえたのをとても嬉しく思いました。どんな仕事に対しても準備するのは大切なことですが、今度の仕事はもっと注意深くなる必要があります。小さなミスでも大変なことになり皆の努力が無駄になります。そこで三十五トン釣鐘の製作にとりかかる前に小さな鐘で実験をすることになりました。その結果に基づいて一番いい方法を選びます。実験は上司の指導通りルールを守って進行され、皆責任を持ってまじめに励みました。巨大な釣鐘ですから品質はもちろんのこと作業員たちに事故が無いように一つ一つの鋳型（鋳物を作るための砂を固めた部品）を作る時も慎重に作業しました。仕事が順調にいかない時、たびたび高齢の会長がわざわざ現場まで来られて皆の相談相手になってくれました。ある時私の不注意で鋳型に小さな傷を付けてしまいました。仕事に害は無いだろうと思い、そのままにしておきました。それを見た会長が私を呼んで「小さな傷でも見過ごせば大きな失敗の原因になります。釣鐘の製造

が成功するため決して油断してはいけません。」と注意されました。その時こんなことも分からない私がとても恥ずかしく思いました。釣鐘のすべての鋳型を完成させ、それを強度を考え正確に組み立てるのに二ヶ月かかりました。皆細心の注意を払いやっと完成しました。後は鋳造（三十五トンの銅合金を熔解して釣鐘の鋳型に流し込む）するだけです。鋳物製品が成功するかしないかは鋳造してみないと分かりません。皆大きな期待と不安を持って鋳造日を待ちました。

鋳造日がついに来ました。反射炉の中で真っ赤に溶けた大量の銅合金が、どろどろの溶岩のように巨大な釣鐘の鋳型の中へ吸い込まれていきます。私は鋳造がうまくいっているのかとても心配していました。しばらくして皆が一斉に大きな拍手をしました。成功したんだ。私はほっとしました。涙がでるほど嬉しかったです。

日本に来る前に「成功の鍵があるかないか」と思っていたのですが、この仕事を通じて何事も目標を達成することは易しくないと思っています。成功の鍵は遠い所ではなく自分の中にあると思います。何かしたいと考えたからには、一生懸命最後までしなければなりません。失敗は避けられませんが、途中で諦めてはいけません。そうすれば達した成果の価値がよく分かると思います。

皆にとって成功の鍵は何ですか。

# 受賞の喜び



グエン タイン トゥアン

国 籍 ベトナム  
職 種 鋳造  
実習実施機関 株式会社老子製作所  
監 理 団 体 協同組合 CEO

私の作文が、たくさんの中から優秀賞に選ばれてとても嬉しいです。

私は日本へ来る前、日本の生活に慣れるためにどうしたらいいかと考えました。自分の出した答えはこうです。「どんな国にとっても、言語は国の文化、習慣と技術の扉を開ける鍵だから、日本語を勉強する必要がある」でした。それは自分の選んだ道が続ける動力だと思っています。

日本にいる3年間で仕事を覚える事とは別に、日本語能力試験N1の合格をする事が目標です。これから、もっともっと頑張りたいと思います。どうもありがとうございました。



## 大きな美しい花を！

ファジャル チトラ ギンティン  
FAJAR CITRA GINTING

私は石渡螺子製作所の機械加工で働いているインドネシア出身のファジャルと申します。来日して、もう一年半経ちました。今日は私が来日してこれまでに苦しいことや悲しいことがいろいろありましたがその中から二つを紹介し

ます。今から半年ぐらい前のことでした。仕事が忙しく、日本語も分からず、朝五時半に起きて、夜十二時に寝るまで、料理、洗濯、掃除、また会社の仕事内容を覚えることなど、公私にわたって本当に大変な日々を過ごしていました。心身共に疲れ切っていたと思います。そんな時、実は機械操作のミスを犯してしまったのです。機械の油を大量にこぼしてしまい、不注意とはいえ、着火すれば工場火災も招きかねない大失敗をしました。仲間や社長も見ているところでやってしまったので本当に気が動転してしまいました。

私はこの時に、いくつかの大切なことを学びました。まず、上司の教えや指導はきちんと覚えて、実行すること。また、整理整頓、清掃清潔、安全第一が会社では最も大切なこと。また仲間とは和をもって協力して仕事をしていくこと。これらは日本で学んだ重要なことでした。

話は変わりますが、こんな多忙の中にいる私のところにインドネシアの両親の家が火災で燃えてしまった、という知らせが届きました。頭の中は真っ白になり、心はパニック状態になりました。こんなに頑張っている時に「なぜ」と

いう思いが起きました。家族の皆が怪我などしないで、無事であったことがなによりでした。

直ぐに再建することは無理ですが、家族が貯金し協力し合い、なんとか早いうちに家を建てたいと思っています。この時私は「生きていくということはなかなか難しいことだ」とつくづく思いました。

そんな時に、日本人の友人が次のような言葉を教えてくれました。「花の咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。」この言葉は私を大変励ましてくれました。

インドネシアには冬がありませんので、冬がどのようなものなのか分からなかったのですが、この冬友人とスキーに行き雪に触れ、初めて冬を体感しました。白い雪の下では、さまざまな生き物や草花が盛んに活動し、生きているのです。そしてやがて来る春を待ちながら。今の私の日々はこの素敵な一句の中の、「寒い日」という表現がふさわしいと思います。毎日、汗と油にまみれ上司の指示を受けながら、必死に仕事をこなしています。

周りの信頼も得てきています。私はこの一句を覚えてから落ち込むことはありません。なぜなら、今の苦労は必ずや将来の輝かしい自分の姿をつくりつつあるからです。夢と希望をもって今日も私は仕事に全力で頑張っています。どんな困難も乗り越えて、人生の大きな花を咲かせるために。

## 受賞の喜び



ファジャル チトラ ギンティン

国 籍 インドネシア  
職 種 機械加工  
実習実施機関 株式会社石渡螺子製作  
監 理 団 体 公益財団法人国際人材育成機構

こんにちは、私はインドネシアから来ましたファジャルと申します。私はこの下の言葉を聞いたら、すごく心が打たれました。日本人の友達が教えてくれました。このような言葉です。

夢ある者には、希望がある。

希望のある者には、目標がある。

目標のある者には、計画がある。

計画のある者には、行動がある。

行動のある者には、実績がある。

実績のある者には、反省がある。

反省のある者には、進歩がある。

進歩のある者には、夢がある。

思い掛けなく、このような立派な優秀賞を頂きまして、とても嬉しく思い、また感謝します。諦めなければ夢は必ず叶うことが分かりました。これを励みにこれからも頑張っていきたいと思います。そして、「花の咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。」この言葉は私を大変励ましてくれました。私の夢のためにはどんな困難も乗り越えて行けると信じています。日本に来る事が出来、多く学ぶ事が出来、感謝しています。これも全て貴国際研修協力機構をはじめ日本人の友人達のおかげであります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



## 心をつなぐ交換日記

周 霞 儿  
ZHOU XIA ER

私は毎日交換日記をしています。私の相手は会社の会長さんです。会長さんは女性です。

私が去年の3月に入社してからもう1年以上も続いています。

会社としては私達2人が初めての実習生です。スタートした頃はお互いが少しよそよそしい感じでした。私は「この会社はどんな会社だろう？いい人達かな？」など期待と不安が入り混じりました。そして、少しでも早く打ち解けるための手段として、私達は毎日日記を書くことになりました。仕事や生活で感じたことや問題点、そして悩みなど何でもいいから書きます。私はいいアイデアだと思いました。毎日会長さんは私達2人の日記にじっくりと目を通し、日本語の誤りを丁寧に添削しながら、必ずコメントを書いてくれます。

しかし、この日記も最初から順調だった訳ではありません。自分の言いたいことが全然伝わらなかつたり、相手の言っていることがなかなか理解できなかつたりしたのです。私は実習生の先輩がいない不便さを痛いほど感じました。特に最初の頃は私の未熟な日本語から読む人に誤解を与えてしまい、特に会長さんに嫌な思いをさせたこともありました。

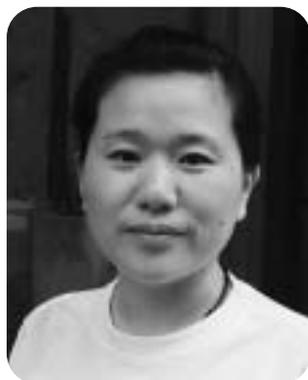
例えば、私は日記で「私は中国へ帰ったら運転手になりたいです」と書いたことがありました。すると翌日会長さんは「カスミちゃんはどうして今の仕事をしているの？帰ってから今の仕事を続けなければとても残念だわ」と書かれていました。その時私が書きたかったのは

「中国に帰ったら運転免許を取りたい」という意味です。私は「そんなつもりで書いたんじゃないのに」と何度も思いました。日記の怖さは言葉のちょっとした使い方で、読む人が大げさに捉えたり、全然違う意味に理解されてしまうことです。そんな時でも会長さんは日記の内容で気になることがあると直接会って問題を解決してくれます。

しかし、日記を毎日欠かさず書くのが苦痛になることもあります。書く内容がなくて困った時などは仕事の報告だけになってしまうこともありました。そんな時会長さんは「もっと向上心を持って頑張って」と激励してくれます。会長さんのコメントで難しい単語がある時は、辞書で調べたり、それでもわからない時は「昨日のコメントの内容はどういう意味ですか？」と質問したりします。また、家族のことで悩んだりした時は、母のように私を慰めてくれます。私は会長さんの言葉で何度も何度も勇気づけられました。

私は時々過去の日記を読み返してみることがあります。それは「困難な時に自分はどうしたのか？」自分でも思い出してみたいからです。私と会長さんの交換日記はもう4冊目に入りました。私が帰国する頃にはこの交換日記が何冊になっているのでしょうか？この交換日記は私にとっても会長さんにとっても人生の貴重な宝物になるはずです。会長さんと私をつなぐ交換日記はこれからも続いていきます。

## 受賞の喜び



周霞儿

国 籍 中国  
職 種 婦人子供服製造  
実習実施機関 有限会社プチレダ  
監理団体 PNJ 事業協同組合

私は中国人です。日本語が上手ではないので、期待はしていませんでした。受賞の知らせはさすがに思ってもいなかったです。うれしい気持は言葉で表わしようがない程でした。皆さんのおめでとうの拍手が夢のようでした。日本に来てたくさんのことを勉強しました。日本人と友達になった事がきっかけでもう一度人生をやり直したいと思いました。日本に働きにお金を稼ぎに来ただけではない、うれしい事ばかりです。作文コンクールという大変難しい貴重な体験をさせて頂いて頑張って書いた作文が優秀賞になったことで私の世界がより豊かなものになりました。これから、もっと日本語を勉強して心も言葉も日本語が私の母国語になると思います。今は人生の中で素晴らしい旅程です。ほんとうに日本に来て良かったです。会社の人とPNJの組合、そして国際研修協力機構、ありがとうございました。



## 五感を使おう

聂 雯 健  
NIE WEN JIAN

私は中国からの実習生です。毎年、中国の子会社から選抜された優秀な社員は日本の親会社で実習する事ができます。帰国した先輩達から日本で実習のことを聞き、私もいつか日本で実習できるように仕事に励みました。私の努力が実り日本へ実習生に選ばれ、去年10月2日にわくわくの気持ちで来日しました。

初めて工場の中に入っていて、驚いたのは目の前にある大きさや形の違う機械でした。機械が運転している音が耳に入ってきます。それと同時にたくさんの歯車が規制正しく動いているのです。商品が次々と運ばれます。この情景はテレビでしか見た事がなく、これから私もこの場所の一員として、働く事ができる。夢のように感じ、嬉しい気持ちで胸がいっぱいになりました。早くこの仕事場に慣れるように頑張りたいと心の中で決めました。

私の仕事はうどん作りです。ラインの流れの確認や機械が正常に作動している事を操作手順に沿ってテストを行い確認し、商品の品質保証が私の仕事です。ラインがトラブった時は警報が鳴ります。各機械のブザー音は違います。ブザー以外にランプも点灯します。最初の頃はブザーが鳴り出したら、音がどこから出ているか探すのも大変でした。流れ作業なので、一箇所のトラブルがトラブルの連鎖となります。私は一刻も早く問題箇所を見付け出せるように必死に探しますが一方、トラブルは減りません。ト

ラブルの処置に追われる日々でした。早くこの仕事に慣れるように気持ちが焦ってきました。一生懸命にやっているが、上達しない自分に不安を感じました。指導員も私の不安を感じ取ったようです。ある日、私に“五感を使って、やってみて。”と言われました。私は戸惑った表情でした。指導員は“仕事の中で、視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚を目一杯使ってください。”と私に言いました。私は意識して五感を使う事により、段々とたくさんの気づきがありました。目で見えるのはラインの流れ状況とランプの色だけではない。機械の動作も見えてくる。耳に聞こえるのはブザー音だけではない、機械の動作の音も聞こえます。手で触ってみると機械の振動も感じます。商品の手触りも感じます。臭いがかぐと美味しそうな臭いが食欲を誘うようになりますが異臭を感じると一早く異変に気づきます。試食により、口あたり、舌触り、歯応え、このような情報から商品品質の確認ができます。五感を使って、様々な情報を感じ取る事ができて、毎日と何か違う事を感じた時、問題点に気づき事ができました。もう必死に問題箇所を見付け出す必要はありません。作業に追われる日々が私の周りから去っていきました。

今日も、私は仕事場に立て、五感で周りの事を感じ取っています。変化ある毎日の中から、品質が変わらない最高の商品を作るため、今後は、第六感を育てて行くつもりです。

# 受賞の喜び



荒井 亜健

国 籍 中国  
職 種 食品加工  
実習実施機関 テーブルマーク株式会社  
監 理 団 体 公益財団法人日中技能者交流センター

この度は外国人技能実習生・研修生日本語作文コンクールにおいて受賞することができ大変うれしく思っています。

このような素晴らしい機会に恵まれましたことに、大変感謝致すると共に指導してくれた日本語の先生および職場の皆様へ、心よりお礼申し上げます。

実はコンクール参加前に、前回の受賞作文を読み、その内容が素晴らしいことから正直なところ、自分は受賞者に選ばれるとは思っていませんでした。受賞の知らせを聞き、非常に驚いて思わず歓声を上げてしまいました。

日本へ技能実習に来る事は、日本語の勉強を始めるきっかけとなり、勉強を通して生の日本文化を知る事だけでなく、日本語でコミュニケーションできることから、人との繋がりが広がりました。

この受賞を励みとして、「下学上達」の姿勢で、仕事・語学においても、受賞に恥じないよう一層の向上に努力したいと思います。

選出いただき、ありがとうございました。



## 真心込めた物作り

ヴー ティ トウイ  
VU THI THUY

「真心込めた物作り」という言葉を聞いたことがありますか。この言葉は私が働いているシバタ精機の「社是」です。私は日本語と日本の仕事を勉強するために去年の四月にベトナムから来ました。私の仕事は機械で金属をブロックに加工することです。大きな物から小さな物までお客様のご注文のサイズに合わせて、精密に加工します。四隅も加工出来るし、四角形から八角形まで加工出来ます。

毎週月曜日の朝礼では、挨拶してから、皆で一緒に大きい声で「真心込めた物作り」を唱和しています。大事な言葉ですので、皆で大きい声で言います。「真心」という言葉を辞書で調べたことがあります。「真心」とは「私利私欲を捨てて、正直に熱心に何かをする心」です。この言葉を考える時に、私は今までに人のために何かを作ったことがあるか考えました。ベトナムにいた時に、母に料理をよく作りました。母に喜んでもらいたいのですので、作る時によく考えました。まず母はどんな料理が好きだろうか、何を作れば喜ぶだろうか、母の健康のためにどうやったら、栄養価の高い物になるか、そして出来上がった料理をお皿のどこにどんなふうに置いたら、一番きれいだろうか、と考えました。母のために母の好きな食べ物を作って、きれいなお皿にきれいに入れて、母に出します。母は料理を見て、とても喜んで、感動して「あ

あ美味しそうですね。トウイちゃんありがとう」と言ってくれます。母は料理を食べて、見て、いつも私の気持ちに気がついてくれます。

仕事も同じです。お客様のことを考えて、製品を作ります。お客様はどんな製品をもらったから、喜ぶだろうか、製品の面はキズがなくて、きれいな方が良く、精度は注文の寸法にピッタリ入らなければなりません。また、製品を出荷する時間は注文の時間に間に合うかも考えます。お客様が困らないように時間通りに出荷出来るように仕事を早めて、完成します。それから、梱包の担当の人がお客様が箱を開けて喜んでくださるように、きれいに入れます。真心込めて仕事をして、良い品質の製品が出来て、きれいな箱にきれいに入れて、お客様に出します。お客様もきっと私たちの気持ちに気がついてくれると思います。

真心を込めて、良い品質の製品が出来たら、必ずお客様が喜んでくれます。更にお客様が製品を見て、感動すれば「この会社は良い会社ですね」と言ってくれます。そうすれば、お客様はまた注文してくれます。その時に、もう一度感動する製品を作れば、会社はお客様から信用してもらえenと思います。それで、会社はますます発展して行くでしょう。「真心込めた物作り」は会社にとっても、日本の仕事を勉強している私にとっても、忘れてはいけない言葉です。

「真心込めた物作り」の言葉をいつも忘れないで、仕事をして、日本の技術とこの言葉をベトナムに持って帰るつもりです。

国	籍	ベトナム
職	種	機械加工
実習実施機関		シバタ精機株式会社
監理団体		福岡素形材産業協同組合



## 何事でも真剣が大事

陈 新  
CHEN XIN

物語は私が日本に来てから二回目の誕生日に遡る。

今年の誕生日も例外なく会社で過ごします。身内は遠い中国にいるので、とても虚しい。

以前、中国にいる時の誕生日も盛大な誕生日パーティーはありませんでしたが、母の手料理と長寿麺がありました。記憶の中で、毎回誕生日の日の朝は母に起こされ、母は両手に赤いゆで卵を持ちながら「我が娘よ、お誕生日おめでとう。これからも長生きする様に順調で良いことが沢山あります様に。」と呟く。私は、誕生日のお祝いに歌の様な母の言葉に感動させられ、ずっと笑っていました。

そして今、ただ他の同僚と同じ作業服を着て、真面目に仕事をしています。以前の誕生日の光景が頭から離れませんでした。今日は誕生日だから少しだけサボっても大丈夫でしょうと思い、仕事を止めて静かな場所で家に電話を掛けようと思いました。「陳、ちょっと事務所に来なさい。」私は課長の言葉に夢から覚めたように現実に戻されました。あーやはり仕事に電話をしてはいけません。でも、今日は誕生日だから課長に許してもらえるかもしれない。と考えながら課長に電話をする理由を正直に言いました。そして、思いもしない課長の言葉に感動しました。それは、私の職業生涯に最も価値のある言葉でした。

まず、規制やルール違反、真面目に仕事をしないことについて課長に指摘されました。その後すぐ、優しい先輩の様に、「陳、事業がある時は、まず課長に報告しなさい。誰でもホームシックになるから。」と言ってくれました。この言葉を聞いた途端、自分がやってはいけないことをやっていたと分かりました。悔しくて、言葉がありませんでした。心の中では必ず優秀な社員になろうと自分を励ましました。

最後、課長に「陳、仕事に戻りなさい。お誕生日おめでとう。」とお祝いの言葉も貰いました。

仕事が終わって帰ってから母に電話をしました。母にも今日の出来事で叱られました。また優秀な社員になるために、沢山励ましてくれました。

日本はもう完全に春になり、課長と母の言葉も春のそよ風のように私の心に吹き入りました。これはどんなに良い誕生日の贈り物でしょう。このことで、私は「真剣」という文字の意味を深く理解できました。仕事はどんなに簡単でも、どんなに複雑でも、どんなに愚かでも、どんなに賢くても「真剣」にやれば結果が見える。真剣でなければ、全てゼロ。何もなりません。

これはどんなに貴重な出来事だろう。「尊敬する課長様にありがとう。」「愛する母にありがとう。」「みなさんの指導と教育があってこそ私の未来が開きます。私の職業生涯もきっとより一層美しくなると思います。

国	籍	中国
職	種	電子機器組立て
実習実施機関		旭電器工業株式会社
監理団体		ELC 事業協同組合



## 収穫の始まり

刘 丽丽

LIU LI LI

時間が経つのは早いもので、あっという間に日本に来て5カ月が過ぎました。日本での実習も生活も新しい事ばかりでワクワクしながら過ごしています。中国に「万事、始めが困難」という諺がありますが、実習も第1歩が肝心なところで、キーポイントです。

この数ヶ月の実習を振り返って、本当に忙しく、充実をしていたと感じています。それに、自分に得るもの、つまり収穫が沢山ありました。

絶対忘れられないのは、実習が始まったころ、大変緊張の連続で、何も分からず不安で一杯な時でした。最初は、作業に関する専門知識を日本人スタッフの皆に一生懸命に教えて頂きました。教えて頂いた事を覚えられなくて、直ぐ忘れてしまって、旨く作業が出来ず、悩みました。そうすると、石井さんという同僚から、「教えてもらった事をメモするといいよ。」とアドバイスを受けました。それから2週間ほど続けてみました。そうすると3週間目で作業手順が覚えられている事に気が付き、嬉しくてそしてホッとしました。

でも、1ヶ月ほど経ったころ、実習中に許されないミスをしてしまいました。工場が一番高い部品を、私のミスで壊してしまったのです。所長が、きっと私の事をきつく叱りつけるだろうと、怖かったのですが、恐る恐るリーダーの方に報告をしました。数分後に所長がやって来

て、1分ほど部品をチェックしてる間、私は心の中で「怖い」と声が出ないくらい脅えていました。すると私に、「これからは、気を付けて」隣の石井さんに「もう一度、彼女に教えてくれ。」と言って、戻って行きました。私は、「えー！これで終わり？叱られないの？弁償は？」と所長の後ろ姿を見て思いました。その時、不思議な感覚に襲われ、目から涙が溢れ出てきました。謝っても許されないミスをしたのに、叱られもせず、弁償もなく、石井さんは、私の涙を拭きながら、「分からない事があったら、直ぐ聞いてね。」と優しい言葉をかけてくれて、熱心に作業を繰り返し、教えてくれました。その日の夜、教えて頂いた事をメモをしながら、もう2度と同じミスをしないと心から誓い、それからは、同じミスはしていません。怒鳴って叱り、ミスを反省させる事もできますが、それよりも、「これからは、気を付けて」と、優しく言われた事が、私にはとても辛く、深く反省をしました。

実習が始まって、すでに5カ月が経ちました。今、一番の収穫は、専門知識と技術が身に付き始めた実感したことです。そして、所長の様に優しく、人を教育することを学んだことと石井さんと友情が芽生えたことが、とっても嬉しくて、大きな収穫でした。これからも、修理・組立て以外の知識・技術を身に付けたいし、石井さん以外の多くの人とも友達になりたいと思っています。

私の収穫は、まだまだこんなものではありません。この先は、まだまだ長いのですから。

国	籍	中国
職	種	電子機器組立て
実習実施機関		株式会社日本アシスト
監理団体		協同組合企業交流センター



## 誤差

蔡 立敏  
CAI LI MIN

私はファッション業の実習生です。メジャーは私達が日常作業によく使うはかりです。ウエスト55cm、裾25cm、許容範囲±0.5cm等、データを作業前に頭に記憶します。作業中時々メジャーで測って適合かどうかの確認をする。製品が出来あがれば、検査を行う。許容範囲外であれば例えば0.1cmでも不適合とされる商品として出荷できません。お客様が見ても、着用しても何もおかしくないかもしれませんが、それは商品としての基準であり、会社としての約束でもあり守らなければなりません。これは会社の教えです。正直に言えば、日本に来て初めの頃、私は本当に1mmまで追求する必要があるのか疑問で理解できなかった。着る物であれば見目が綺麗で快適で丈夫だったら良い商品として見なされるべきではないでしょうか。厳しすぎると思ったりもしました。しかしその甘い考えが大変苦しい思いを招いてしまいました。

来日してから3ヵ月余りが経過したある日の午後の事です。「蔡さんちょっと来て。寸法違いよ。ダメでしょう。手直しよ。」数十枚の商品が私の前に置かれた。指導員の厳しい顔に大変な事をしたと気付いた瞬間、寒気が頭から爪先まで流れた様に感じた。吃驚した私は慌てて寸法を測った。許容範囲外0.1cmだけなのに…。大きく違ってないから、できれば許してもらいたいと思っている私の心を指導員さんが読み

取ったようで「規格というのは商品としての基準でありお客様との約束です。例えば1mmオーバーしても商品としては成り立たないしお客様との約束を破ることになってしまいます。それは大変恥ずかしい事であり会社としては許されない事です。基準を目指し頑張っではじめて許容範囲内に収まる。0.5cmまで許されるという考え方では絶対にオーバーしますよ。縫製だけではなく何事においてもちょっとだけなら許してもいいと思ったら予想より何倍ものズレが生じるよ。自分に厳しくしなければ人には信頼されないよ。」私は恥ずかしくて仕方がなかった。黙って手直しを始めた。手直しは最初から作るより何十倍もの時間がかかった。何枚の商品を直したのか身体がどの位疲れたのかも今は忘れたが、あの時に恥ずかしさで一杯になり自分が人に信頼されない人間だという苦しい思いだけは生涯忘れられないと思う。あれから、自分に厳しくしなければ人に信頼されないよという声が耳に響く。私は時々自分に問いかける。自分の心の基準をきちんと守っていますか。悪いと思いつつも許してしまった事はありませんか。自分は人に信頼される人間ですか。1mmの誤差で良品と不良品の違いになり、小さな事を厳守できるかどうかの差で信頼される人間とされない人間の違いになる。小さな事でも一つ一つ守れば大きな信頼につながる。小さな過ちを許せば大きなミスにつながる。物造りだけではなく、人生もそう。私は誤差のない人生を歩みたい。あの日あの時の教訓、有難う。指導員さん。

国	籍	中国
職	種	婦人子供服製造
実習実施機関		株式会社伊予繊維
監理団体		えひめファッション産業協同組合



## 実習の旅

陈 玉 芝  
CHEN YU ZHI

三年前、新しい生活に期待と不安が入り混じった気持ちで日本に来ました。いろいろなチャレンジが待ち受けているだろうと思っていました。

日本に来たばかりの時、よくわからない生活の道に足を踏み入れました。その時とても心配しました。初めての挨拶、初めての買い物、初めての外出……今まだ覚えています。今思い出すと思わず笑ってしまいます。

私が会社に入って2年間ぐらい勉強、生活と仕事をした頃、日本の生活にだんだん慣れてきました。毎日みんなで温かい挨拶をするのが楽しみで、仕事をしていました。

今から8ヵ月ぐらい前のある日、突然部長と課長と中国の担当先生が、一緒に寮に来ました。彼らの表情はとても厳粛でした。直感的に悪い事が発生したと思いました。果たして、会社は仕事がなくなった、会社もなくなると通知されました。これを聞いたとき、みんなはあっけにとられてしまいました。日本に来る前、三年間の実習を約束しました。次はどうなるのですか。わかりません。帰るか？新しい仕事を探すか？その時水泳ができない人が救命ブイを取られたようで、全然何にも考えられませんでした。でも時間も生活も待っていません。どうあっても自分と家族のために、三年間の実習は必ず頑張り抜く。そのことは私の心から離れませんが

した。

しばらくして私たちの新しい会社が決まりました。去年8月21日、今の会社に入社しました。8ヶ月を経て新しい仕事や環境や同僚もだんだんわかりました。毎日楽しみに仕事をしています。

どこでも一生安泰の仕事も未来永劫つぶれない企業も存在しません。そんな中で私は幸運な人だと思います。私を成長させてくれた人、手伝ってくれた人はいっぱいいます。心から感謝しています。

今の会社では新しいチャレンジがありました。それは社員全員が、毎月改善提案を提出するのです。私たちも日本語で書いて提出します。以前の会社ではなかったことです。これは良いことだと思います。技能実習生も社員も全員が、仕事の効率を高めることや大胆に創意工夫する時間を持てるからです。

また今の会社では、毎週定期的に日本語を学習する時間があります。会社の担当先生と会話や仕事の言葉を勉強しています。

日本にいる三年間にいろいろなことを勉強しました。例えば挨拶は必ずします。遅刻欠勤などの連絡は早めにします。何かを伝える際は要点をまとめてからします。会議では必ずメモを取ります。社内の噂話に乗りません。公共の場では社内の話をしません。体調管理に気をつけます。ミスや事故は隠さずに嘘をつかずに、早めに報告連絡相談します。明日の行動を確認してから寝ます

日本で得た体験は、私の人生にとってとても貴重です。私の実習の旅はいろいろなことを教えてくれて、もうすぐ終わります。

国	籍	中国
職	種	プラスチック成形
実習実施機関		米新工業株式会社
監理団体		静岡県経友会事業協同組合



## 日本人の「両面性」

姜 海 洋  
JIANG HAI YANG

日本に来て一年半、実習生活でいろいろ体験しました。ある出来事で、私は日本人の「両面性」が分かりました。その「両面性」とは仕事や後輩に対しての厳しさと優しさです。

入社当初のことでした。ある日、出荷する商品が大変多くて、みんなが忙しくて、猫の手も借りたいぐらいでした。私はもちろん日本に来たばかりなので、仕事のスピードがまだまだ遅くて、仕事の流れについていけませんでした。気持ちが焦ってしまって、早くするために商品を投げたりしてしまいました。その時突然、「何をしているの。」と耳に怒り声が入りました。私がびっくりして見ると、日本人の先輩が真っ赤な怒り顔をして、私の横に立っていました。先輩に「商品を投げたらだめとは知らないの。何で投げるの。」と聞かれて、私は「忙しいから、間に合わないから。」と小さな声で答えました。すると、先輩に「商品はお客さんに提供するもので、いくら忙しくても、丁寧に取扱わないとだめだ。」と怒られました。忙しいにも関わらず、私が投げた商品を全部開封して、折れていないかどうか検査をしました。それで、私は日本人の仕事に対しての厳しさを改めて認識しました。

でも正直、その時はみんなに迷惑をかけて申し訳ないと思っていますが、商品が折れたりしたことがなく、大丈夫だったので、忙しいのに

検査をしなくても良かったとも思いました。

その件の二日後、私が食道で昼ごはんを食べていた時、その日本人の先輩は「横に座ってもいい。」と言って私の横に座りました。食事をしながら、先輩は私に「最近落ち込んでいるように見えてましたが、この間の件のせいですか。」と聞きました。私は怒られる覚悟をして先輩に、あんなに忙しいのに時間をかけて検査した理由を聞きました。意外にも先輩は怒ることなく、理由を説明してくれました。それは、お客さんに責任を持って自信を持って商品を提供するため、私達の工程まで頑張ってくれた同僚達の努力を尊重するために、ちょっとでも不良になる可能性を無くしたいからとのことでした。先輩の話で私は自分の浅い考えを恥ずかしく思いました。同じ仕事をしているのに、私は自分の都合しか考えなかったが、先輩はみんなのことを考えて仕事をしていることに驚きました。もっと私が驚かされたのは、話の最後に先輩は「もっと早くお前にじっくり話して、フォローしたらよかったのに。なかなか時間を取れなくて、今になってしまってすまないね。」と言ってくれました。私は心から先輩の優しさに感動しました。

それから私は先輩を見習い、丁寧に確実に仕事に取り組む努力をしてきました。まだまだできませんが、将来、先輩のような優しさと厳しさの「両面性」を持つ人間になりたいと思います。

国	籍	中国
職	種	印刷
実習実施機関	株式会社グラフィック	
監理団体	オービーシー協同組合	



## チャンス

グエン ゴック ホアイ トウオン  
NGUYEN NGOC HOAI THUONG

私は23歳のベトナム人です。

実習生として日本に来るために一生懸命努力しました。夢が叶って大きな希望を持って去年9月2日に13人の仲間と日本に来ました。成田から鹿沼へ向かうバスの中から見た日本に驚きました。人も車もたくさんなのに、とても静かです。ゴミもなくて空気がきれいです。

1ヶ月の講習を終えて、歯医者を使う医療器具を作る会社に入社しました。最初に上司から会社の状況と製品の説明を受けました。日本人の働く意識はすごいと思いました。社員全員が「会社をもっともっと発展させて世界一にする」という夢を持っています。真面目に、熱心に仕事をしています。見学が終わるとたくさんの社員が実習生を笑顔で歓迎してくれました。国を離れ、不安な私達を温かく迎えてくれてとても幸せでした。

担当部署では、冷たくて小さな金属の製品に触った時はとても感動しました。私はこの立派な会社の一員になれるんだとワクワクしました。それで、小さい声で「これは私の機械。毎日“5S”を実施して良い製品を作るのだ。毎日頑張るやろう」と自分に言いました。他にも学ぶことがたくさんあります。技術的なことをマスターして、信頼を得ること、日本語も覚えなければなりません。最初に心掛けたのは、元気に挨拶することです。

ベトナムでは一日中同じ挨拶なのに、日本は朝昼夜と違います。笑顔で大きな声で挨拶します。教えてもらったことは必ずメモするようにします。分からないことは上司に聞いて確認してからやります。自分勝手な判断は絶対にしてはいけません。

私は不良品を作ってしまったことがあります。上司にすごく叱られると思いましたが「人間ですから初めての時はミスがあっても仕方がないです。これからは注意して頑張ってください」と言われました。その時、私は「もう、不良品はださないようにしよう」と決心しました。本当に専門も人間性も素晴らしい上司です。

私は他の社員ととても仲良くて、忙しい時は皆で助け合って計画通りに仕事をしています。そのような人達に囲まれて段々職場内で信頼しあえるようになりました。ファミリーと同じです。疲れた時は日本人の同僚が「トゥオンちゃん頑張って!!」とお母さんのようにハグしてくれます。温かい気持ちになります。

こんな素晴らしい会社に入社できるチャンスをもたらえてとても幸運です。ぜひ残りの時間を大切にして、努力を怠らずに過ごしたいです。毎晩、寝る前に「皆さん今日もありがとうございました、明日も宜しく!」とすべての人に感謝の気持ちで言います。実習を終えてベトナムへ帰った時、素晴らしい3年間だったと思えるように、精一杯頑張ります。

国	籍	ベトナム
職	種	電子機器組立て
実習実施機関		株式会社ナカニシ
監理団体		鹿沼機械金属工業協同組合



## 日本製

王 梦 洁

WANG MENG JIE

日本語を覚えるために、日本の縫製技術を学ぶために、私は技能実習生として日本にきました。一年が過ぎました。私は日本の全てが大好きです。綺麗な空気、優しい人たち、安全で美味しい食べ物、それから信頼できる高品質な日本製品。

この一年間、収穫がたくさんありました。日本語が上手になった、日本の縫製技術を身につけた、そして工場で日本人の友達ができました。一番の収穫はなぜ日本製品がみんなに好まれるのか、わかったことです。

私が今働いている婦人服製造会社は、独自のブランドを持って、仕入れから設計、縫製、販売まですべて自分たちでする会社です。自分たちが作った洋服が売れるかどうかは、品質に大きい関係があると気づきました。日本の工場働いて、一番感じたのは日本の縫製技術が進んでいることです。それから初めてどうして日本製がみんなに歓迎されるのがわかったのです。日本製のものはいくつかの特徴があります。壊れない、使いやすい、外見も綺麗。

日本の会社は仕事でスピードも品質も厳しく追及します。いつも工場の責任者に言われているのは速く綺麗に縫ってください。速さと綺麗さ両方を求められるので、中国から来たばかりの実習生には厳しい要求です。なぜなら、中国の工場は品質よりスピードが求められます。中

国人より日本人のほうは細かくて真面目で丁寧です。どんな小さなことでも見逃しません。日本の工場で、一ミリの誤差でも許されませんが、中国人から見たら、一ミリは誤差ではありません。気にする必要ないと言われます。その意識の差から品質の差が生まれたと思います。

わが社はテレビショッピングにも出ています。自分の手で縫った洋服はテレビを通して日本全国の人に知ってそして買ってもらえるなんて、本当に誇らしいことです。「今回の洋服全部売れたよ、追加注文も来たよ」と聞いて、嬉しい気持ちでいっぱいです。初めてテレビショッピングの番組を見た時の感動を忘れられません。ちょうど裏地が紹介された時、「あ、あの裏地は私たちの班で縫ったものでしょう」と私たちは嬉しくて大声を出しました。あれから、私の仕事態度が変わりました。綺麗に速く縫うことを常に心がけて仕事するようになりました。わが社の作った洋服は日本製だと表示されています。その表示に負けないような洋服を縫わなければならないと思いました。日本製品は品質がいい、信頼できるとの評判だからです。

国	籍	中国
職	種	婦人子供服製造
実習実施機関		株式会社 YUMEMIDO
監理団体		福岡アパレル協同組合



## 気づく力

马 甜  
MA TIAN

私の工場にはたくさんの人が働いています。若い人もいれば、ベテランの人、男の人もいれば女の人もいます。この工場で実習をはじめてもうすぐ一年半になりますが、この一年半で分ったこと、それは「気づく力」です。

工場の同じフロアには、私と同じ作業をしている人もいれば、全く異なった作業をしている人もいて、基本的にはみんなバラバラで作業をしています。

ある日、私は朝から部品の組立ての作業をしていました。二月の雪の降る日で、とても寒い日でした。この時間は毎年忙しいらしく、その日も一日に組立てなければならない部品がたくさんあり、私は一日に作らなければならない個数を時間通りに仕上げるができるか少し心配していました。午後の四時半頃になり、定時の時間が終わるまで、ある一時間程度。いよいよこのペースでは間に合わない、まっと今日残業することを覚悟していた時、隣で作業していたおばちゃんが声を掛けてきました。「私、終わったから手伝ってあげるよ。」私はそんなこと言ってもらえるとは思っていなかったもので、とても嬉しかったです。本当は自分一人でやらなければならない作業をやってもらったことで、申し訳なく思いながら残りを仕上げました。さらに仕事が定時に終わるのが見えてきた時、さっきのおばちゃんが隣で作業している男の人

に声を掛けて、「残りの分、私が手伝ってあげる。」とまた言っていました。感心したのは、作業のスピードが早いこともそうですが、自分の量だけでなく、他人の分も、嫌な顔をせず手伝っているところでした。きっと私だったら、自分の分が早く終わろうものなら、それに合わせて時間を使い、作業をしていたかと思います。日本人の働き方のすごさを改めて感じました。

こうした配慮、気づきは日本人ならではのものです。自分のことだけを考えて仕事をするのではなく、職場全体のことを考えながら働くということは、日本人の素晴らしい姿勢だと言えます。

常に人のことを気づかいながら、そして、一見自分の作業に集中しているように見せかけて、実は周りのことをよく気にし、見えている点、これはある程度の余裕がなければできません。今回は実際に私が手伝ってもらったおばちゃんの話ですが、他の職場の人々も同じように周りの人を手伝えることをよくしています。日本人のこの素晴らしい考え方を私もまねしてこれからも実習を続け、母国に帰っても同じことをやりたいと思います。

世界中の人々がこんな考え方で働いていけば、きっと平和な世の中が続くと感じました。技能実習を通じて、技術だけでなく、こんなにすてきな考えを学ぶことができ、日本に来ることができたことを誇りに思いました。

国	籍	中国
職	種	プリント配線板製造
実習実施機関		エヌシー産業株式会社
監理団体		関西経友会事業協同組合



## 挨拶のチカラ

バラガ エドワード ジュニア オソリオ  
BALAGA EDUARDO JR. OSORIO

僕が実習生として日本に行く前、PNTC 学校で日本語の授業を受けていた時の事です。ハリー先生は「日本でのトレーニングがいくら大変でも3年間頑張り続けるにはどうしたら良いと思いますか」と私達に尋ねました。クラスメートは「どうしたら仕事を楽しめるかを考える事。日本人と良い関係を築き、友達を増やす事が大切」と答えました。「日本人と良い関係を作る事」という意見を聞いた時、僕はそのような事が自分には出来るのだろうかと思いました。なぜなら僕は日本語がペラペラじゃなくて日本人とコミュニケーションを取る事は難しいと思ったからです。

現在、私は実習生としてトレーニングを受けています。会社ではフィリピン人が働いていなかったのが会社で働いている人達はフィリピン人がどんな人なのかを知らませんでした。この状況だったため一緒に働く日本人と良い関係を作る事は更に難しく思えました。

また、トレーニング開始時、日本語を使う事、文化や習慣の違い、仕事の大変さなどの様々なストレスがありました。その中で、一番ストレスに思った事はどうすれば日本人と仲良くなれるのかが全く分からないという事でした。そんな時、ふと石原先生が言った事を思い出しました。それは「挨拶のチカラ」という事でした。石原先生によると日本人の心を捕らえるには挨拶

が大事だという事でした。ですから、毎日現場で会った人皆に笑顔で元気な声で挨拶しようと心に決めました。初めてしてみた時、僕が挨拶しても返してくれない人がたくさんいました。そのせいで、悲しくなり、やめてしまおうかとも思いましたがせめて一週間ぐらいは続けてみようと言いに聞かせ、続けてみました。3日経っても何も変わらず、挨拶を返してくれない人がほとんどでした。

一週間後の事でした。僕がコンビニでお弁当を買っていると「いつも元気なエド君、おはよう」と同僚が笑顔で優しく声をかけてくれました。しかも、その同僚は「後で一緒に昼ごはんを食べよう」とまで誘ってくれたのです。その後、友達はどんどん増えていき、より良い関係も築きはじめる事が出来ました。これも全部、挨拶のチカラのおかげだと思います。

このような経験をした僕だからこそ、実習生のみんなへ伝えたい事は、もし早く日本人の同僚と仲良くなりたいと思うなら、まずは挨拶をしてみてください。いくら挨拶が返ってこなくてもめげずに繰り返し挨拶をしてみてください。元気な挨拶は必ず友達作りのきっかけとなります

国	籍	フィリピン
職	種	鋳造
実習実施機関		日立金属株式会社
監理団体		協同組合フレンドニッポン



## 私たちみんな責任者

汪 瑞 瑞  
WANG RUI RUI

去年の2月19日、私は故郷に別れを告げ、不安と期待を抱いて日本の福岡にやってきました。初めて全く知らない国に来た私は実習に対する情熱と新しい環境への好奇心で胸がいっぱいでした。

私が今働いている会社は中高年向けの婦人服製造会社です。生地仕入れから、デザイン、縫製、販売まですべてわが社自分で行うアパレルメーカーです。会社の作った洋服が売れるかどうかは、品質に大きく関係していると、入社した初日から言われました。

デザインも品質もよくてしかも値段も手ごろでないと洋服が売れない時代になってきました。会社に入った当時はここの厳しい縫製基準とルールに慣れなくてミスがたくさん出たこともありました。以前中国の服装工場で働いた時に一番求められたのは数量と効率です。日本は違います。数量も大事ですが、一番大事なのは品質です。わが社では品質に対する厳しい基準が決められています。お客さまに100パーセント保証することは会社の方針です。消費者に満足していただくには高品質の洋服を作らなければなりません。不景気のなか、消費者の信頼を得られることが今のアパレル業界を生き残る方法だと思われています。

縫製というのは洋服の品質を現す大切な工程です。つまり会社の洋服が売れるかどうか

は、縫製の仕事をしている私たち実習生にも責任があります。それを分かってから、私は仕事する気持ちが変わりました。ミスが出ないように、縫う作業を行う前も途中も終わった後も、こまめに確認することは非常に大事です。一枚の洋服を完成するには、裁断、芯貼り、アイロン、ミシン、検品など、たくさんの作業が行われます。裁断で裁った生地は前身ごろ、後ろ身ごろ、袖、襟に分けられてアイロンとミシンに回されます。私たちは流れ作業なので、それぞれ分担された仕事をします。みんな責任者です。自分が担当した仕事はミスが出ると、次の仕事まで流れなくなります。工場全体の仕事に迷惑をかけることになります。

一年が経って、私は今先輩として新しく来た実習生に仕事を教えています。「ミスを出さない、ミスを隠さない」は私の信条です。後輩に「任された仕事は責任を持って完成すること」と教えています。私たちは会社とお客さまに責任があることを教えています。三年間それを忘れないでみんなでがんばりたいと思います。

国	籍	中国
職	種	婦人子供服製造
実習実施機関		株式会社ミック
監理団体		福岡アパレル協同組合



## やる気があれば何でもできる

グエン シー トウアン  
NGUYEN SY TUAN

私はトゥアンと申します。ベトナムの田舎の出身です。実習生として来日しました。ベトナムと日本は東方文化の影響を受けてきましたが、仕事の考え方の差はかなり大きいです。日本に来て以来、街の繁栄や清潔さに驚きましたが、それにも増して驚いたのは日本人の仕事のやる気です。

私はベトナムにいたとき、仕事によく「疲れた。眠い。」とっていましたので、悪循環して、みんなやる気がなく、暗い顔をして仕事をしていました。

しかし、私は日本の会社に入って半年ぐらい経ったとき、1つのことに気がつきました。口癖ができていたことです。それは、「元気です。」と「頑張ろう。」という言葉です。日本人はよくこの2つの言葉を言います。私は以前、全然日本語が話せませんでしたから、ずっとこの2つの言葉を真似していました。

日本の会社に入ったばかりのころ、私はよく先輩に「元気がないね。大丈夫？」と聞かれました。多分毎日暗い顔で仕事をしていたと思います。私は日本人の真似をして「元気です。」とっていました。この言葉はとても不思議です。暗い顔では言えません。自然と笑顔になります。そして、毎日「元気です。」とっていると、不思議と毎日笑顔で仕事できるようになっていました。

そしてもう1つ、日本人はいつも笑顔で「頑張ろう。」と言ってくれます。私はいつも元気をもらいます。ですから、私もよく「頑張ろう。」と言うようにしています。「元気です。」で自分が笑顔になって、「頑張ろう。」で周りの人を元気にする。私はこれからずっと続けていこうと思います。

日本人は仕事の効率がいいと言われていきます。ルールに基づいて作業を進め、ホウ・レン・ソウもちゃんと言うし、職場の雰囲気もいいです。やる気が増すとともに仕事の質も量も上がります。日本人がずっと質のいい仕事ができるのは仕事に対するやる気と関係があると思います。ベトナム人は真面目で頭がいいですが、仕事に慣れた時は、不注意になりがちですから、日本人の仕事には見習う点がたくさんあると思います。

日本人は日本の発展のため一人一人が一日一日頑張っています。やる気があれば、何でもできる。ベトナム人もベトナムの発展のため、自分の手で、頑張ろうではありませんか。

国	籍	ベトナム
職	種	印刷
実習実施機関		株式会社グラフィック
監理団体		オービシー協同組合



## 日本人は義理人情に厚い

刘 洋  
LIU YANG

日本に来る前は、日本人は義理人情に厚いと聞いていましたが、技能実習生として九州テイ・エス大分工場に入社して初めてその事を肌で実感できました。

僕が入社したばかりの時、間違いだらけで実習指導員の課長によく叱られ大変な思いをし「なんて義理人情のない人だろう」と思っていました。

しかし、時間が経つ連れ、その思いが変わりました。

その思いが初めて揺れたのは僕がシルバー不良を出した翌日でした。課長がその不良に関する分析や対策を丁寧に指導してくれた後、「今回は製品の異常で良かったが、もし機械の異常であつたら、どんな危険が起こるか想像できない。いつも厳しく言うけど、ご両親が君を僕らに預けたのに、3年後、怪我をして帰国したり、事故で帰れなくなったら、僕らはどうやってご両親に説明したらよいか、ご両親が悲しむだろう。」と言ってくれました。それを聞いて悔しい気持ちいっぱいでした。僕のような家族を離れて異国で実習している者に対して、こんなことまで温かく見守ってくれているのに、課長は義理人情のない人だと思っていた僕こそ、情けないではないかと思うようになりました。

その後、僕の涙が出そうな顔を見て、さらに「そんな小さなシルバーは、たぶん僕では気づ

かないが、君は発見できたんだよ。ということは、君は検査の能力がかなり身についたということだ。もし、発見した時にすぐ報告してくれたら、不良を防ぐこともできたし、僕はきっと褒めてあげたと思うよ。今後、このようなことがあつたらぜひ自信を持って報告するようにしてください。」と励ましてくれました。僕は本当に検査の仕事が好きなのです。でも、短期で強気な僕は、検査のスピードの事ばかり気にして「質より量」になっていました。これからは、絶対に課長に心配させないように頑張ろうと決心しました。

しばらくしてから、僕が配属している生産1課は、1か月間不良流出ゼロで品質褒賞金が課員全員に渡されました。その時、「毎日、真面目に仕事してくれてありがとう。金額は大したものではないけれど、会社からみんなへの感謝の気持ちだ。これは、実習生、日本人スタッフ関係無く生産1課全員の努力の成果だ。このまま継続していこう。」と課長は言ってくれました。もうこれ以上の心温まる言葉はありません。課長は義理人情のない人だという思いがその時点で消えました。

僕の実習現場には、課長をはじめ、義理人情に厚い人がたくさんいます。こんな義理人情が溢れている現場で実習できることを凄く誇りに思っています。自分の実習生活は、後1年半しか残っていません。この短い期間で、日本人が義理人情に厚いという素晴らしさに負けないよう、仕事のコツをしっかりと身につけて日本人スタッフとのコミュニケーションが取れるように頑張りたいです。

国	籍	中国
職	種	プラスチック成形
実習実施機関		九州テイ・エス株式会社
監理団体		ELC事業協同組合



## 最初が肝心

呂 宛 君  
LU WAN JUN

この言葉は、私が日本に来ていろいろ学んだ中で、一番印象深い言葉です。

「最初」は文字どおり一番初めです。「肝心」は大切という意味です。

日本へ来たばかりのある日、ケースを作っていたとき、底のテープの真ん中が浮いていました。日本人の先輩に「ダメですよ。」と怒られました。その時はおかしいと思いました。「見えない所ですから、大丈夫じゃないですか。」と思いました。でも、日本人の先輩に、「汚いから、あかん。」と言われました。またラベルを貼る時も、「斜めになっているよ。」「しわがはいっているよ。」「角が浮いているよ。」と、何度も注意されました。その時、私は本当に「うるさい」と思いました。日本人はどうしてそんなに厳しいか、理解できませんでした。自分は気分が悪いし、とても悔しかったです。どうしたらいいかわからなくて思い悩みました。

そしてある日、私は先輩に、「見えないところですから、ちょっと角が浮いても大丈夫だと思います。どうしてそんなに厳しいですか。」と言いました。言ってからすぐに後悔しました。先輩に怒られると思いました。でも先輩は、「確かに、このラベルだったら大丈夫かもしれないね。」と言いました。私は不思議に思って、「では、どうしてそんなに厳しいですか。」と聞きました。先輩は優しい声で、「小さい事を軽くみ

ていると、大きい失敗に繋がるよ。最初に悪い方法を覚えたらあとでは直らないよ。何度も最初がだからね。いつもきつい言い方してごめんね。」と言ってくれました。先輩はいつも私のことを考えて怒ってくれていました。私はその時初めて気がつきました。自分に対してとても恥ずかしかったです。

日本人は何に対しても、厳しく真面目です。不良を一枚でも発見したら、全部検品することもあります。三万枚に一枚の不良で全部クレームになったこともありました。休みの日に全員で検査しました。ですから、先輩達は仕事に対して厳しいです。一枚を軽く見ていると、クレームになったら本当に大変になります。もっと多くの人に迷惑をかけます。今では「最初が肝心。」の意味がわかります。

会社に入った当初、もし日本人の先輩が私に厳しく指導しなかったら、私はこのように一枚一枚、ちゃんと細かいところを見る習慣が身についていなかったと思います。

この実習生活で、いろいろなことを勉強しました。いろいろ教えてくれたみなさんに感謝しています。日本人の真面目さを身につけたら、どこへ行っても仕事ができ、一生の財産になると思います。次の後輩がもうそろそろ会社に来ます。私は前よりもっと勉強していい先輩になれるように頑張っていきたいです。そして、「最初が肝心。」の意味を後輩にも教えようと思います。

国	籍	中国
職	種	紙器・段ボール箱製造
実習実施機関		有限会社ソノダ
監理団体		オービーシー協同組合



## 一回の油断から学んだ教訓

グエン レ キム ガン  
NGUYEN LE KIM NGAN

私は技能実習生として、希望を持ち、夢を抱いて日本に来ました。日本へ来れた事は自分でつかみ取ったチャンスです。だから、私は一生懸命勉強して仕事をやります。

私は企業にとって初めてのベトナム人実習生として入社しました。私たちの会社は日本だけでなく、アメリカやマレーシアなどでも有名です。ホクト株式会社はきのこの品質というものに大変厳しい会社です。最初に所長達に教えてもらった事は、日本では食品が一番大切なもので、人間の健康に直接関与することです。ですから大事に考えてくださいと言われました。所長の言葉のとおり、私は先輩からよく勉強して、一日一つずつ頑張って仕事がよくできるようになりました。所長と班長は私の事を信じて、私はベトナム人後輩の手本となりました。

一年半が過ぎて、私はさらに頑張っていました。けれども、二〇一三年十月八日に事件が起きました。

その日、二人の後輩に教えている時に、悪い製品がありました。私は後輩達に勉強させたいと思って、話しませんでした。やっているうちに機械が故障しました。早く機械を修理したいのに、製品のエラーを忘れてしまいました。十分後、私は思い出して後輩に聞きました。けれども後輩の答えははっきりしませんでした。私はもう一度ちゃんとチェックをしませんでし

た。大丈夫だと思いました。

一週間後、お客様から所長に製品の事で連絡がありました。お客様に悪いものを提供して大変な迷惑をかけました。その事を聞いて、私は心配になって、全部製品が戻って、所長と班長が私を叱ると思いました。けれども、所長と班長は私を叱りませんでした。優しく声をかけて「もう大丈夫だけど、最初の私の言葉を思い出して」と言われました。

その事件が起こった理由は、私が仕事で油断したからです。私達の製品は人間の健康にかかわっていますから、それはとても大事な事です。私は心を痛めて、本当に後悔しました。仕事中に油断する事が失敗につながりました。所長と班長に謝って、後輩達にその事を伝えて、絶対にそんな事が二度と起こらないように、どんな小さな事でももう一度確認して、油断せずにいい食品を作り上げたいと思っています。

私達の会社は小さい生産会社から大きくなった大変素晴らしい会社です。その上に人の健康という大事な事が分かってきました。今以上に私は心を込めて、小さな努力を積み重ねてみんなと確かな信頼を築き上げたいと思っています。

日本で会社の仕事をやってから、多くの大切な事が分かって、皆さんにもいろいろお世話になりました。ベトナムへ帰っても、どこで仕事をやっても、この経験を忘れずに、皆に教えてあげようと思っています。

国	籍	ベトナム
職	種	耕種農業
実習実施機関		ホクト株式会社
監理団体		東西商工協同組合



## 技能実習で経験したこと

雷 晓 英  
LEI XIAO YING

私は二十四歳で独身のため、何かに挑戦したいと考えていました。その時に、この技能実習制度を知り、日本の文化や電化製品に興味があったため、思い切って参加しました。

実習が始まり二ヶ月が経過しましたが、生活習慣や規則の違いを日々経験しています。入国前に一ヶ月の集合研修があり日本の文化や言葉について色々と学びましたが、中国と日本での言葉の学び方の違いが時に印象的でした。中国では、とにかく先生方の話を聞きながら覚えましたが、日本では自分自身で考え文章を実際に書き、会話しながら覚えています。方法は異なりますが、私は後者の方法が合っており、少しずつではありますが

自身の語学力が上がってきている事を実感でき楽しく勉強しています。

技能実習の初日に現場案内があり、業務内容や注意事項の説明がありました。就業中の方々を見ながら、正直、簡単な作業だと思いました。ですが、実際に現場リーダーから作業指導を受けやってみると、製品を落としたり壊したりしてしまい、正確に同じものを作り続ける事の難しさを実感しました。私は梱包作業を担当していますが、梱包は製造過程の最終工程です。ある日、作業で使用する指サックが無い事に気づきました。どこを探しても見つける事が出来ませんでした。私はとても心配になり、その事を

現場リーダーへ報告すると、「梱包した箱を全て開梱してでも必ず見つけ出さなければならない」と言われました。出荷待ちの製品を一つずつ開梱しながら探したところ、箱の中から指サックが見つかりました。故意では無くても、開梱した際に償却となってしまった箱とそのまま出荷されていた場合の事を考えると、とても申し訳ないと思うと同時に自身の作業に対する責任の重さを改めて痛感しました。それからは、私のミスは会社の信用を無くす事に繋がると考え、今まで以上に自覚を持って業務に取り組んでいます。仕事は大変ですが、お客様から信頼される製品を造るために努力し、残りの実習期間を楽しみたいと思います。

以上

国籍	中国
職種	電子機器組立て作業
実習実施機関	ディーピーティー株式会社
監理団体	ティー・アイ・シー協同組合



## 蜜蜂と蠅の話です

ファン ティ フィン チャー  
PHAN THI HUYNH TRA

「蜜蜂と蠅はどうちが違いますか」私はベトナムにいる時先生に質問しました。私のグループは女性10人が日本に来る前に先生はそのレッスンを教えてくれました。蜜蜂はいつも団結して、蜂蜜を作ります、たくさんいる蜜蜂一匹一匹が、それぞれ違う役割の仕事をする。女王蜂と雄蜂は卵を生みます、働き蜂は家を作って、蜂蜜を探して、家を守ります、蜂は共同社会を作ります。蜂は仕事も一緒にして敵会った時も一緒に反攻します、その事は団結という意味です。蠅は反対です汚い所にすんで、困る事があつたらバラバラに逃げます。先生は私のグループは集団ですから、生活も仕事も、困る事があつたら、一緒に協力して乗り越えて蜜蜂のように勉強してくださいとおっしゃいました。

しかし、日本に来た後で、私達はその事を、すっかり忘れてしまいました。些細な事で意見が合わない時、喧嘩をして、とても寂しかったです。10人は10人の意見があります。誰でも自分で「私の意見が一番良い」と思っていました。私も、仕事を早く覚えて、一人でなんでもできるようにになりたいと思いました。他の人の意見もあまり聞きませんでした。

日本に来てから7ヶ月経った2013年12月31日年末の日の事です。工場です仕事をしている時、きのこを運搬する機械が故障してしまいまし

た。仕事は予定の時間に終わらないと思った。皆困りました。でも、「NO」。私は先生から教えられたレッスンを思い出しました。機械の代わりに、人の力できのこを運びます。まず、それぞれの人が何をしたらよいか役割を決めました。きのこを生育屋からきのこを包む工場へ運ばなければなりません。生育屋は階下にあります。きのこを包む所は階上にあります。階段を使って運ばなければなりません。皆は行列して、きのこを渡しました。きのこのリレーです。きのこのケースは重いですが、全員熱心に笑顔で仕事をしました。疲れたのに雰囲気は良くて楽しかったです。仕事を予定の時間に終わらすことができました。

年末の日、私にとって、たくさん意味があります。小さな蜜蜂は、一匹では、大きな事はできないが、団結して協力する事で、大きな仕事をやりとげます。人間も同じです。団結すれば大きな事ができます。団結の意味はよくわかりました。私は前に一人で仕事したいと思った。でも、これから以前の考えを変えます。良い結果を出すためには集団の力がいます。人の力を合わせて協力すれば、なんでもできます。でも、団結だけではたりません。自分の意見だけで進めるのではなく、皆の意見を集めて話し合い、良い意見を選びます。私達は10人は一緒に仕事して、日本語を勉強して「美味しい蜂蜜を作って、帰国をする時、もって帰ります」。美味しい蜂蜜は難しい技術の仕事をするだけでなく、小さい仕事もきちんとやって、心で製品を作ります。

国	籍	ベトナム
職	種	耕種農業
実習実施機関		ホクト株式会社
監理団体		東西商工協同組合



## 仕事をする時の心構え

楊 洋  
YANG YANG

以前私は秋が苦手でした。何故なら秋は酷寒の冬を迎える季節でもあるからです。しかし、2012年の秋は私が技能実習生の一員として来日する事が決まり、それからこの秋は私の人生の変化点になりました。

現在、来日してもう1年半くらい経ちましたが、最も印象に残っているのは仕事を通して自分自身を変えた事です。工場に配属されたばかりの私にとって、工場内の全部が疑問で質問ばかりでした。でも、時間が経つにつれて、昔聞いたことのない言葉も覚えるようになり、配属された当時、疑問に感じたことも分かるようになりました。この変化は、工場の上司と一緒に働く日本人のスタッフの優しい指導のおかげです。

しかし、来日当時の新鮮な気持ちだんだん去っていき、異国での寂しい気持ちも強くなってきました。仕事中でも故郷にいる家庭や友達のことを思い出し、工具の置き場所を間違えたり作業標準も間違えたりしました。

ある日、私は部品を間違えて使用し、不良品をたくさん出してしまいました。当時、私は非常に怖かったです。なぜなら工場では毎日のようにリーダーから5S活動を徹底するよう指示されたにも関わらず、私はそれを守らないで作業をしたからです。結局、私のせいで当日生産した製品のほとんどが不良品になり、作り直

すことになりました。

翌日、リーダーに呼ばれ面談することになりました。私はリーダーに怒られると心配していました。しかし、リーダーは私の作業手順を確認し、もう一度5Sを徹底する事と作業標準を守る重要性を強調した上、今後は二度と同じミスをしないう優しく指導をしましてくれました。その指導を受けて私は恥ずかしくなり、涙が止まりませんでした。しかし、リーダーの優しい指導はまるで父がそばで励ましている感じがしました。面談を受けた後、私はリーダーに謝罪をしました。すると、リーダーは「笑いながら、大丈夫だよ、だけど、もしあなたの心が不良になっては駄目だからね、製品は一つ一つ魂が入った生命力を持ったものであり、汗と製品に対する尊重がこもっているから。」この話を聞いた瞬間、私は改めて製品の生産意義を分かりました。これは、単なる機械で生産されたものだけではなく、皆さんの汗と心を込めてお客様に納入した信頼であることに気づきました。また製品を尊重する生産者こそ活気ある製品を作られるし、もはや、この心構えで生産に臨んだからこそ、日本がものづくり大国として認められたかも知れません。

今回の事件をきっかけに、私は自ら過去の事を反省し、絶対いい製品を作るという心構えを持って仕事に頑張ることになり、不良品も一度も出ませんでした。これは、お金では買えない価値があり。私にとって財産になりました。

国	籍	中国
職	種	電子機器組立て
実習実施機関		株式会社ミックコントラクトサービス
監理団体		エコノ協同組合



## 逃走！悪事、止めて。

フィ ティ マイ フーン  
PHI THI MAI PHUONG

過去の期間を顧みて我々の誰でも日本での日々、実習の日々についていろいろと考えたことがあると思う。人生にとっては日本で過ごして1095日は長かったか短かったか自分しからない。研修生の逃走の問題は近頃では聞くにつれ多くなり、明らかになりつつあるそうです。逃走問題は組合と受入会社の問題と思わない。厳密に言えば研修生の問題だ。実習のために日本に来て、ここでの生活はベトナムと比べて違うがやっぱり天国ではないと信じられている。心配事がある時、苦しい時、自分でしか乗り越えられない。ただし、この生活は、この道は、自身が選んだのだから逃走した事に対して弁明はできない。この事は後に続こうとしている国の後人に影響するだろう。後輩では自分の弟とか妹かもしれない。逃走については、いくつか原因を聞いたことがあった。1番は金の引力だ。

日本の金はベトナムの金に変えると、貨幣価値が高くて、色々な事が出来るが、だからと言って、逃走は正しくない。逃走はイリーガルだよ。誰も守れない認めてくれない。もちろん逃走する前に良い事ばかり聞くのだろう。給料が高いし、生活も自由だとか。なん%が事実か分からない。二番は、会社の事が嫌いだから逃走するそうだが、本当にその会社が前の会社より良いかどうか。もしその会社が本当に良かったら確

かに逃走の人が認めない。

何しろ逃走の事は断れない。日々、仕事でちょっと頑張ると、仕事ぶりを高く評価される。日本語もちょっと頑張ると理解できるし資格も取れるし極上でなくても三年間、努力したほうがいい。実習を満了できれば、ベトナムに戻ったらいい仕事、いい給料をもらいやすいし、日本に戻りたい場合は私達は逃走した人より戻りやすいと信じる。逃走した人は、逆の考えだ。お金にはかぎりがある。もし暫くの間警察に拘留されて国に戻ったら、回りから悪く言われて、働いた金は誇れない。

もし拘留されなかったら、いつも警戒しながら生きていこう。そんな人生が面白いわけがない。それに自分の将来には責任を持ったほうが良い。日本へ実習に来た人は全て若いと思う。自分に誠実に過ごして、国の代表者として真面目に実習に徹する覚悟だ。出来る事はきちんとやって自分のレベルを上げる。もっとチャレンジの気持ちが出てくるかもしれない。そんな気持ちは金では買えない。

私は日本語で大好きな諺は「一期一会」だ。何でも二回目の機会が来るかどうか分からない。日本に来て、実習生になったらいろいろな面白い事があるから。実習の時間は私にいっぱい良い思い出を作っています。美味しい日本食を味わったり、桜を見に行ったり、暢気に遊んだりしたほうが最高だ。日本人の心に好感を作りましょう。後輩の日本に来るチャンスと夢を奪わないでください。

国	籍	ベトナム
職	種	電子機器組立て
実習実施機関		株式会社 INAX 総合サービス
監理団体		関東情報産業協同組合

## 佳作

### 5 S

#### 丛 萍 CONG PING

伏見蒲鉾株式会社／  
新潟国際人材交流事業協同組合

みなさん、「5 S」って知っていますか？五個のS？それは整理、整頓、清掃、清潔、躰をローマ字で書くとSから始まります。だからこの言葉を「5 S」と呼びます。

私が実習している会社は蒲鉾を作っている会社です。初めて会社の現場に入った時のことは記憶にはっきりしっかり憶えています。工場の玄関で上履きに履き替えお互いに肩や全身に掃除機みたいな音がする機械で着ている髪の毛を取ります。そして隣の人同士で髪の毛が着いているかいないか確認しあいます。手をアルコール消毒し体温測定器の前を通り、そしてロッカーで着替えて現場の入り口の手洗い場で手を洗います。その手洗い場の上に「整理・整頓・清潔」が貼ってありました。中国人ですから漢字の意味もなんとなく分かります。これが5 Sとの初めての出会いでした。ただ日本の整理、整頓、清掃、清潔、躰は半端ではありません。驚くばかりです。例えば手洗いにしても順序があります。①手の爪が長すぎるか、傷があるか確認します②清水で手洗い③石鹼で手洗い④清水⑤逆性石鹼⑥清水⑦次亜塩素酸ナトリウム⑧清水⑨ペーパータオルで拭く⑩アルコール消毒の順序で手を洗います。

食品の製造は手を使いますので厳格にしなければならぬのです。現場では日本人も中国人もみな同じ作業服を着てマスクをして一生懸命に仕事をします。みんな同じ格好なので面白い

です。そしてラインで扱う道具も順番がありそのとおりにきちんと置かれています。

働いている人は同じ白い服で同じに見えますが現場は一目ではっきりすべてのものが整理整頓されています。使用済みのかごやパレットまでそのたびにきちんと決められたところに決められた順序で並べられます。それはまた使うとき取りやすく何がどこにあるかすぐ分かるためです。これは仕事に無駄が無いです。現場を離れて他の事をしてまた現場に入るときまた同じ手洗いをして入ります。だって食べ物を作るんですから当たり前でしょう。はじめの頃は何で一回手を洗ったのにとおぼあちゃんからいろいろ教えてもらい、食べる人の顔を思い浮かべてみたら清楚は当たり前とします。日本人は幼稚園のときから整理、整頓、清掃は習うのだと現場のおばちゃんが話してくれました。私たち実習生は現場だけでなく、生活にもこの「5 S」をしています。私のアパートはきれいです。清潔で整理整頓された台所、きれいなシャワー室、便所、私はこの日本で学んだ5 Sの習慣を大事な宝にしていきたいと思います。だって楽しいですから。

## 佳作

### 仕事の中で喜びを見つけます

顾 绍 英

GU SHAO YING

株式会社アオキ／

株式会社アオキ

寒かった冬も終り、そろそろ春の気配を感じるようになりました。日本では余り大きくない縫製工場に働いており住み慣れた中国から日本への移動で初めは技能がうまく発揮できず言葉も通じなくて戸惑いましたが、今では日本の暮らしを楽しんでいます。そんな中で一年前より現在の私は生活態度と仕事の認識、考え方が変わり、まるで別人になったみたいです。

日本の東北にある小さい町、大館は今の仕事の場所です。毎日母さんより年上の日本人の先輩達と一緒に働きます。そこから私はたくさんの事を学びました。朝から晩まで一生懸命に頑張る姿を見て自分が恥ずかしくなりました。

「私達の作る商品は私達の心を映す鏡です。鏡に映った姿がいつも美しくある為に私達はお客様からお預かりした商品を一针一针心を込めて大切に作ります。」これは工場の経営理念です。先輩達はこの理念を大切にずっと守っています。一枚一枚を縫い、まじめに検査をして、少しの欠点も許さず、責任をもって心を込めて服を作ります。私が最初に日本に来たばかりの頃、この姿勢を見た時は自分に出来るのか心配しました。私は品質より枚数の方が重要で、人を利するより自己を利する方が良いと考えていました。しかし、いろいろと仕事の間違いもあり、ある時悟りました。自分の考え方が間違いであったと。今は非常に悔やみ、今後は先輩達について本気に勉強しようと思います。以前の

思想・習慣を全部捨てます。全て零から始めます。以前、中国に居た時、私は仕事は自分の時間を提供して報酬を得る為の手段であると考えてました。自分がお金も儲ける機械みたいだと思います。体が疲れ、心がもっと疲れた。でもここでは違う。仕事の時間によって給料をもらい、質のある仕事をしています。

昨年会社から“生きる”という本をもらいました。読みました。大好きでした。特に「六つの精進」の部分です。人生の方向を探した様に本の中では「私達が自分の仕事を心から好きになり、誰にも負けない努力を払い、精魂込めて仕事に取り組む。それを通じて－ただそれだけを通じて－私達は生きることが出来るを学び、心を磨き、人格を練り上げて人生の真理を体得することができるのです」という言葉があります。私はまだ深い意味を理解する事ができませんが、先輩達はこの言葉通りできていると思います。皆さんは毎日、目標をもち、一生懸命働きます。ですからできた時の達成感は特別な喜びとなります。

高校生の時、かつて服装設計者になろうと思いい、絵を描く学習をしましたが、いろいろな理由で断念しました。今の私は縫製工になり二年になります。設計者と少し違うけど合っていると思います。自分は社会人として社会に貢献でき、これで充分満足しています。縫製工になり、日本で学ぶことができる事を誇らしく感じます。今後もすばらしい縫製工になる為に頑張ります。

## 佳作

### 私が職場で得たこと

韦 新 荣

WEI XIN RONG

東光株式会社／  
徳島県アパレル縫製工業組合

日本に来て、もう六ヶ月が経ちました。時間が過ぎるのはとても早いです。初めは戸惑うこともありましたが、今は徳島の暮らしにも慣れました。毎日楽しくて、充実しています。

私が働いている会社は東光株式会社です。靴下やストッキングを製造しています。縫製や編機などの作業を行っています。上司と先輩のおかげで、仕事は一通りできるようになりました。私は新しいことに挑戦するのがとても好きです。私の性格を知っている上司はいつも新しいことを教えてくれました。

ある日、上司が私のそばに来て「午後の仕事は環縫いミシンで、ゴム付けを練習してみませんか。」と言いました。私はそれを聞いてとてもわくわくしていました。工場内の作業だったら、自分は何でもできると思い込んでいました。でも、ゴム付けは思っていたより難しい作業でした。「遅くても、きれいに仕上げていけば大丈夫です。」と、上司が励ましてくれました。私は本縫いミシンが上手にできるので、環縫いミシンもきっと大丈夫だと自分では思っていました。その日の午後はずっと、ゴム付けを一生懸命練習しました。周りの日本人も「頑張っ。」とみんな応援してくれました。ゴム付けができた時は、とてもうれしかったです。「これで大丈夫」と思いました。

翌日、上司が私が昨日縫った物を見た時「ダメ！目落ちしています。すべて、縫ったものを

ほどいて、やり直してください。」と言われました。私はそれを聞いて、とてもショックを受けました。時間を無駄にしました。材料も無駄にしました。上司が怒っているのではないかと、とても心配でした。何でもできると思っていた自分が恥ずかしかったです。自分ではきれいに縫えていると思っていたのに、上司にダメと言われ、私は自信がなくなりました。上司に「私にはゴム付けはできません。もうやめたいです。」と言いました。上司は「まだ時間があります。もっと練習すれば、きっとできるようになります」と言ってくれました。私はすごくプレッシャーを感じていました。

「あと一週間で必ずできるようになる」と目標を立てました。周りのみんなは、落ち込んでいる私を応援してくれました。その一週間は夜も眠れませんでした。「努力すれば、できないことはないはず」と信じて、私は毎日ずっと練習しました。やっと、第二週目で製品を上司に見せた時に、「これはきれいです。」とほめてもらいました。私はうれしくて言葉も出ませんでした。それから作業のスピードも速くなりました。

これからも、逃げずにいろんなことに挑戦していきたいです。上司のように、自分に厳しく仕事をしたいと思います。残りの実習期間を利用して、日本のいろんなことをもっと勉強し、中国に帰ったらその知識を活かして活躍したいです。

## 佳作

### 技能実習と品質

迟 桂 凤

CHI GUI FENG

株式会社日本アシスト／  
協同組合企業交流センター

人は、一生の中で色々な経験をします。日本での実習は、きっと後悔しない有意義な経験になると感じています。

母国では、90年代の若者は、他人の事を考えない、何でも親に頼る、どうしようもない世代だとよく言われています。でも、そんな事を思われるのが嫌で、自分で自分の人生を切り開いて、逆に両親から頼られるような自分になりたくて、日本に技能実習に来ました。

ここ数か月で、本当に色々な経験をしましたが、特に実習現場では、転機になるような事を体験しました。私が、実習をしている会社は、電子機器組立関係の大きな企業で、ルールや要求される事項が多くて、厳しい会社だと思います。実習が始まったばかりの頃、色々なルールや手順を覚えながら、専門知識を学んでいたころは、大変で困った事が多くありました。例えば、髪の毛の事です。会社の要求は、作業場に入る前に、髪の毛を後ろに束ねるという事です。私の髪の毛はちょうど束ねられるか、束ねられないかぐらいの長さで、どうしようか悩みました。私は、面倒なので束ねないで、実習に入りました。その日は、何もなくて終わりましたが、翌日、所長から呼ばれ、面談をすることになりました。やはり、髪の毛の事でした…髪の毛を束ねないことぐらいで、面談するなんて、めんどくさいと思っていました。面談の場で所長は「この会社は、お客様のために、もっといいサー

ビス、もっといい品質を出せるように、コストの高い部品や性能が良い機械を購入して、作業しています。作業者の皆さんに、髪の毛を後ろに束ねてもらっているのは、髪の毛が製品の中に入らないようにするためで、お客様に二度と不具合が発生しない良い製品を渡したいために、それをお願いをしています。お金がかからない行動だけで、より良い品質の製品ができるのに、どうしてそれをやらないのですか。」と熱心に説明してくれました。私は、この会社は、お客様の立場に立って、品質の高い製品を提供することで会社を発展させて行く事を目的にしていることが、はっきり理解が出来ました。私は、所長に「所長、すみませんでした。今日から、髪の毛を後ろで束ねてから、作業所に入ります。」と答えました。それからは、ちゃんと髪の毛を後ろから束ねて、実習をしています。

小さい事ですが、髪の毛の事を体験してから、自分の考え方も少し変わったような気がします。それは、今までは、自分の利益のために行動をしていましたが、他人の立場、お客様の立場にたって、考える事の大切さを学びました。

自分がちょっと成長したかなと思っています。この3年間で、もっと成長したいと考えていますし、祖国にもどったら、両親だけでなく国からも頼られる人材になるように頑張りたいと思っています。また、より良い人生がおくれるように、一生懸命に頑張ります。

## 佳作

### 日本実習の感想

黎 彩霞

LI CAI XIA

株式会社 YUMEMIDO/  
福岡アパレル協同組合

時間が経つのは早いものですね。あと10ヵ月で日本での実習は終わります。私は桜の花を見た時の感動、そして最初に日本料理を食べた時の事を忘れません。

来日してから、いろいろと考えさせられ、大変勉強になりました。中国の工場と日本の工場と違いがたくさんあります。一番の違いは仕事の態度と姿勢だと思います。日本人の仕事に対する真面目な態度は私たち実習生が見習うべきところだと思います。私は婦人服製造工場で働いています。会社全員一生懸命働きます。パートの人から班長まで暇な人がいません。私の主な仕事はミシンを使って洋服を縫うことです。綺麗にしかも速く縫うことは基本です。中国の工場で働いた時には、綺麗に縫うことより早く縫うことを一番に求められます。日本の縫製工場は品質に非常に厳しいです。一ミリでも許されないこともあります。「なぜなら、わが社が作った洋服を愛着しているお客さまの信頼を裏切るわけはいきませんから」と、いつも工場の責任者高崎部長に言われます。お客さんに満足していただくには、100%綺麗で正確に縫わなければならないです。ちょっとしたはずれやミスでも大量の直しにつながる時がありますので、指示書通りに作業することが基本で当たり前のことだと教わりました。

日本人の働く態度は真面目で一生懸命だけではありません。彼らはいつも相手の立場に立っ

て考えて作業を行います。みんなの作業効率向上のために、どうしたらいいか考えて作業をします。それから日本人は自分のポジションをよく理解しています。個人の利益より会社全体の利益を考えて仕事します。次につながるために、何をしたらいいか優先に考える日本人の職場はスムーズに仕事が進みます。思いやりがあって協力し合って仕事をするのは日本人の働くもう一つの特徴です。それも私たち中国人が見習うところです。

最後、私たち中国人が習うべきところは日本人の公平なところだと思います。中国と違って、日本の工場は実力しかみられません。コネや賄賂や権力などは働きません。社長をはじめ会社の上司は少しも尊大ぶったことはありません。真面目に働く人は尊敬されます。差別もありません。とても心地よい働く環境だと思います。みんなの目的は一つ、一生懸命働いて会社をよくすることです。そのためにみんなで協力しあって仲良く仕事をしています。

私は今の職場が大好きです。

日本に来て今の会社で働けて本当によかったです。周りの日本人は親切な人ばかりです。いろんなことを教わりました。日本での時間が残り少ないので、もっと日本語を覚えて日本人といっぱい交流して、たくさんの技術を身につけたいと思います。最後までがんばります。

## 佳作

### 頑張ることを間違っ

常 麗 娜

CHANG LI NA

株式会社柴田技研工業／  
共進協同組合

私は、塗装や塗装品の検査の仕事をしています。塗装品の検査は小さなゴミやキズを見つける細かい作業です。最初は会社の先輩にいろいろと教えてもらいながら、仕事のやり方を覚え、先輩に後で確認検査をやってもらっていました。そのやり方も2ヵ月ぐらいで確認検査がなくなり、自分の検査だけで出荷されるようになりました。

私は、少し不安もありましたが、ひとりできるようになった喜びでいっぱいでした。

1ヵ月ぐらいたった時でした。お客様から「製品にゴミが付いている」と連絡がありました。そのあとも、週に1個ぐらい返品されるようになりました。指導員の人に、「どうしたんだ、仕事に集中していないからだ」と言われましたが、「すみません、がんばります」しか言えませんでした。

先輩から「また、確認検査になったから」と言われた時は、本当に寂しい気持ちになってしまいました。仕事以外でも、頭の中からそのことが離れなくなって、どうしたらいいか分からなくなってしまいました。

私は日本語で話すのが上手ではないので日本人にも相談できないし、他の実習生にもバカにされている、笑われていると思って何も相談できなくなっていました。そんな時に会社の社長さんが「どうした、元気がないね」と話しかけてくれました。私は、精いっぱいの勇気で話を

してみました。すると、社長さんは「あなたの日本語はよく分かるよ」と言ってくれました。そして、「自分の思っていることを直接話してみれば」と言ってくれました。

私はもう一度自分の検査のやり方を考えて、一つ方法を思いつきました。でも、それをするには、今までよりも検査に時間がかかってしまい、生産ラインを少し遅くしないとできません。自分が検査で見落としした失敗を「ラインを遅くしてください」とは言えないし、自分だけが会社に迷惑をかけていると考えていたので、とても聞いてもらえないと思っていました。でも、叱られてもいいと思って、リーダーに話を聞いてもらうことにしました。何から話していいか考えながら、何度も同じことを話していました。どれぐらい分かってもらえたのかとっていると、「いいよ少しだけ遅くしよう、不良がなくなったら戻すよ」と言われました。あれだけ悩んだのは何だったのか、力が抜けてしまいました。

私は、自分で勝手に日本語が下手とか、自分だけで問題を解決させようとか思って、悩んでいました。そして、ただ自分だけで頑張ろうと思っていました。でも、今は自分だけで悩んだり考えるのではなく、先輩やいろいろな人に相談し、自分の出来ることは精いっぱいやる。そして下手でも精いっぱいの日本語で説明する。その方法であと1年をやり抜こうと思っています。私は自分では頑張っていた気持ちでしたが、どこかで間違っていました。

## 佳作

### 温もりと成長

李 夏 青

LI XIA QING

旭電器工業株式会社／  
ELC 事業協同組合

2012年11月5日、家族と離れ、期待を持ちながら飛行機に乗り、中国を出国しました。日本という違う文化での3年間の実習生活は凄く心配で不安もありました。

日本に到着して、組合で「日本の文化や規則、法律」について勉強をしました。1ヶ月後、工場での実習スタートです。日本語がまだまだ下手なのに大丈夫かなと色々考えて、とても期待と不安でいっぱいでした。工場に入り、まずは簡単に工場を見学しました。機械の音が聞こえている中、みんなが真面目に仕事をしているのが見えました。課長から「現場では規則と注意事項を守らなければいけません」と教わりました。そして、私をみんなに紹介してくれました。みんなはとても心温かく迎えてくれました。私の班長さんは日本語が下手な私に漢字で書いてくれたり、ゆっくり話して正確な仕事の仕方を教えてくれるのに、私はよく間違えました。それでも、班長は根気良く何度も教えてくれました。

昨年の夏、すごく暑い日にアパートのクーラーが壊れてしまい動かなくなりました。翌日出勤しましたが、体調が悪く作業が出来ないでいると、班長がどうしたのかと心配して聞いてくれました。私がクーラーが壊れたことを言うと、日本の夏はとても暑く病気になりやすいから気をつけなければいけないと教えてくれました。班長は課長にクーラーを修理するように

言ってくれ、その日の午後、組合の人がクーラーを修理してくれました。私はこれは自分達の問題で私が休みの日に修理すれば良いと考えていましたが、班長は凄く大切な事だからと言ってくれました。またある日、私はお腹が痛くて作業している時にお腹に手を当てていると、すぐにみんながどうしたの？と聞いてくれました。お腹が痛い事を言うと班長はすぐ薬を持ってきてくれました。何を食べたのかとみんな心配して聞いてくれました。翌日出社すると、みんなが今日はどうですか？大丈夫？と言ってくれました。私は、心配してくれると思っていなかったなので、心の中ですごく嬉しかったです。

仕事の上であれ、生活の上であれ、みんなの助けがとても大きく感じるようになって、もっと努力するようになりました。そうする事で、またみんなに優しくしてもらえるようになり、ますます親密な関係を持つことが出来ました。いつしかみんなが私を自分の家族のように優しくしてくれるので、家のぬくもりを感じるようになりました。私の日本語はまだ上手ではありませんが、私がみんなと交流して努力する事で成長することが出来ています。それをみんなは心配しながら見守ってくれていて、それはまるで世間知らずな子供を温かく見守ってくれているようです。

いつしか日本に来て1年が過ぎました。今、みんなからの愛に包まれて生活することが出来ていますので、この時間は私の人生の中でも素晴らしい経験となり、一生の宝物です。

## 佳作

### 見学

庄 晓

ZHUANG XIAO

株式会社道水／  
日本人材協同組合

私は日本に来て、もう2年半が過ぎようとしています。この2年半の間、色々な事がありました。人生の苦しみというものを少し甘くみていた一方で良い経験もしました。特に印象に残っている事は、去年の12月に行った他社への見学です。

時間が過ぎるのは早く、私は会社の中で大先輩となりました。毎日同じ仕事を繰り返して行くうちに作業も手早くなり、慣れていくに従って、上司の注意事項や、最初に指導していただいた事に対して、少し慣れた習慣の中で安心感がありました。でも、それはまちがいでした。そんな中、不良品がでてしまったのです。私も含め、実習生同志、態度も方法も変わらない中、会社側で実習生全員を他社へ見学をさせてくれる計画をたててくれました。私は行く途中のバスの中で、「私達より仕事は早いのか…」「私の会社の仕事より、もっと大変か…」と何度も見学先の会社の事を想像しました。

2時半くらいかかって、やっと到着しました。バスを降りると社長と工場長が笑顔で出迎えてくれました。早速、私達を連れて、工場内に入りました。工場に入ると、その雰囲気には驚かされました。テキパキと仕事をしていてはりつめた空気の中、胸が高鳴りました。それは、着く前に想像もつかなかった事でした。近寄って見ると、同期の実習生を見つけました。私は、彼女達の仕事の方法をよく見た時、ずいぶんと簡

単だと思いました。その時工場長が実際に体験させてくれる場を与えてくれました。教えられたとおりに自分でもやってみました。すると思ったより、とても難しいことに、気づきました。私は、彼女たちと、同じ日に日本へ来て、仕事を始めました。同じ時間が経過し、彼女たちは、最初の気持ちを持ったまま、仕事をしていました。青春の意気に燃えている事を感じました。それに比べて、私はそのようではなく、平穏な生活にどっぷりつかっていると思いました。改めて考えると、彼女達の仕事は手早く、きれいな仕上がりでした。この体験は、少し悲しかったです。帰りのバスの中で、私と彼女達の何がちがうのかという事を考えた結果、仕事に綿密である事、規定通りに正確である事、手早く作業をする事、きれいに製品を作る事、よく確認しながら作業をする事などを学んだと思いました。

私は、仕事が慣れてきた今だからこそ、今回の見学で学んだ事をいつも考えながら、仕事に励もうと思いました。あと、半年で帰国ですが、この気持ちを持ち続けたまま、仕事をしていこうと思っています。中国でも、決して忘れてはいけない事だと思います。今回の見学は私の人生の中で、貴重な経験でした。人生の貴い体験でした。

## 佳作

### 協力

贾 梅

JIA MEI

有限会社ソノダ／  
オービーシー協同組合

協力の大切さを知った三年間でした。

先日、会社の同僚と花見をしました。満開の桜の木が道の両側に並んでいました。美しい桃色の花が、ひとつひとつ元気に咲いて、みんなで協力し合って圧倒的な存在感を示しています。このような桜を見て、私は会社での「協力」を思い出しました。

それは会社に入ったばかりのときでした。会社では、毎回商品を作る前にいろいろ準備をしないとイケません。もし、準備していないと作業がとても大変です。でも、その時は前の商品の片付けが遅くなって、次の商品の準備が間に合いませんでした。ファイルを明確にしていな。入数やラベルを貼る位置もわからない。私と一緒に仕事をしている人もとても忙しくなりました。私はどうしていいか分かりませんでした。その時「どうしたの。」と言って、機長が来てくれました。機長は困っている私を見て、一度機械を止めました。他の同僚達もその様子を見て来てくれましたそして、一緒に前の商品を片付けて、場所も片付けました。それから、次の商品の準備をします。ファイルを見て、ケースを作って、パレットを探して、準備します。全部みなさんに手伝ってもらいました。それから機長は機械を動かしました。私は機長に怒られると思い、恐る恐る機長の顔を見ると、機長は「大丈夫だよ。気にしないで。これからは早めに片付けて、早めに次の商品の準備が出来る

ように考えよう。」と言ってくれました。私はすごくほっとしました。そして、手伝ってくれた人達にも「すみません。ありがとうございます。」と言いました。すると皆さんは、「困ったときはお互いさま。いつでも協力するよ。私達が困ったときは贾さんも協力してね。」と言ってくれました。私はその時、「これが協力なんだ。」と解りました。以降、私はいつもみなさんに協力したいと思って仕事をしています。でも、日本人はあまりミスしませんから、協力できません。ですから、私はときどきみなさんに「手伝いましょうか。」と聞きますが、日本人はいつも、「大丈夫、大丈夫、ありがとう。」と言います。この時はすこし寂しい気がします。

私はもうすぐ中国へ帰ります。今は、仕事に慣れて、事前の準備も早くなりましたし、いろいろなことができるようになりました。私が成長できたのは、みなさんの協力があったからです。中国へ帰っても、仲間と協力し合い、桜のように咲き誇りたいと思います。

佳作

## 言葉と交流について

高 晓 凤

GAO XIAO FENG

ディーピーティー株式会社/  
ティー・アイ・シー協同組合

来日して二ヶ月が経ちました。日々、普通の生活や職場で色々な体験をしています。その中で、私がとても難しいと感じたのが言葉と交流です。来日前に日本の文化や言葉について三ヶ月の教育を受けて来ましたが、それだけの知識では上手くコミュニケーションが取れず、いつも挨拶程度の交流となってしまいます。そういった現状に対して、仕事面や生活面でとても不憫さを感じます。

私の職場では、日本、ブラジル、中国の三カ国の人種が働いており、現場リーダーはブラジル人です。ある日、そのリーダーとの行き違いによりトラブルとなりました。中国人実習生に対し、リーダーは「喋った」と注意をしました。その際、私が通訳をしたのですが、「食べた」と聞き間違え伝えてしまい、「何も食べていません」とその子は返事をしました。私がそのまま伝えると、何故かリーダーの顔つきが変わったため、理由が分からずとても不安になりました。その出来事の後で他の方から聞き間違っていた事を教えてもらい、全てが理解できました。そして、リーダーへ誤解があった事を説明して謝罪をしました。この経験から、私は言葉の大切さを痛感しました。些細な事でも確認を怠り違う解釈をすると、大きなトラブルに発展してしまうかも知れません。その事を考えると消極的になってしまう自分がいますが、交流を深めるためには言葉が必要です。まだまだ語学力が不

足しているため、身振り手振りを交えながら相手の表情をよく見て会話し、言葉の壁を乗り越え、職場の仲間達と交流を深めていきたいと思っています。

最後に、私は自分自身を鍛えるために技能実習へと参加しました。夫や子供達と離れ、見知らぬ土地で生活することは想像以上に苦しく辛いものですが、この技能実習期間を無事に終える事が出来れば、自分自身のスキルアップや母国の発展に寄与できるものと信じています。その為には、一日一日を大切にして日本語の習得や色々な方々との交流から多くを学びたいと思っています。

以上

## 佳作

### 厳しさも愛情

宋 愿

SONG YUAN

株式会社 YUMEMIDO/  
福岡アパレル協同組合

日本に来て知らず知らず二年間が過ぎました。この二年間で、私は苦しいことも嬉しいこともいろんなことを経験しました。最初はここの生活と仕事に慣れなくて苦しんだり悩んだりしたこともありましたが、今すっかり日本に馴染んで楽しい毎日を過ごしています。

私は日本で働き始めた時のことを未だにはっきり覚えています。工場に入って最初に任せられた作業は準備です。準備という作業はアイロンの仕事を中心です。中国でアイロンの仕事をしたことがないので、仕事によくミスをしました。不注意が一番の原因でした。班長はとても厳しい人でした。いつもそばで厳しい目で私を見張っているような気がして、とても怖かったです。

入社してしばらくしてある日に起きた出来事です。少しずつ仕事に慣れた私はあの日、任せられた仕事を早く終わらせました。班長に確認する前に、次の仕事に取りかかりました。新しいデザインだったので、パターン合わせをしなかったため、またミスを行いました。次の日に、「作業する前に確認しましたか」と班長に聞かれました。「いいえ」と私は頭を揺らしました。「どうして言われたことをいつも忘れてりするの」と班長に厳しく叱られました。正直言ってたいしたミスじゃないのにあんなに怒る班長を見てちょっと大げさだと思いました。

私は黙ってアイロン台に戻って、生地とパ

ターンを合わせてみました。本当に違っていました。班長に素直にごめんなさいと言えずに、ただ「やり直したほうがいいですか」と聞きました。「確かに違っているけど、今回の違いはほんのわずかだったからやり直さなくていい。ただ、これから作業を始める前にちゃんと確認してからしてね」と優しく教えてくれました。

私はようやくどうしてあんなに班長が怒ったのかわかりました。私がまた不注意でまた確認しないで似たようなミスを犯さないように、私のために怒ったからです。全ての作業を始める前に必ず確認すること。それは入社した時に一番に注意されたことです。それを大事なことだと思っていない私をみて、班長が怒った。班長は大事なことを私に教えようとしているのでした。厳しく怒るのも愛情、厳しさも優しさの一つだと気づきました。

時間が経つのは早いものです。日本での技能実習は残りあと10ヶ月と成りました。振り返ってみれば、楽しいことも苦しいこともすべていい思い出になりました。これからも厳しく班長に怒られたことを忘れずにがんばっていきます。

## 佳作

### 失敗から勉強した事

申 筱 笛

SHEN XIAO DI

加賀村田株式会社/  
オーエス事業協同組合

皆さん、仕事の中でミスをしたことがありますか。ミスがあった時は、どうしましたか。そのままにしましたか、あるいは何か対策をしましたか。

私は職場でミスをしたことがあります。そのミスは、お客様の所から工場にフィードバックされて大変でした。ですから、職場のリーダーはミーティングをして、『これからどうすればいいか』をテーマにして、みんなで討議しました。そのミーティングから、日本人の仕事に対する態度に感銘を受けました。

人間は、生活中とか仕事とかミスをするのはよくあることだと思います。ミスや失敗を起こさないのは当たり前ですが、これをもって戒めて、経験や教訓を汲み取るのは、もっと意義があると思います。

ミーティングの後、私もちゃんと考えました。何でミスが出たのか？絶対に何か原因があります。原因が判ってはじめて、これから再び失敗するのを免れると思います。

私はミーティングから学んだ事をまとめました。

1) 作業をする時、いい加減ではだめで、常にきっちりとやらなければなりません。

私達の仕事は、ある一定の時間内に決められた量を完成させなければなりません。しかし、作業は相対的に早く出来たが、悪いやり方に伴ってミスが出て、修正するためにかえって時

間がかかることもあります。要するに、倍の仕事で半分の成果しか得られなくて、損失をもたらすかも知れません。ですから決められた通り仕事をする必要があります。

2) 仕事をする前に、生産のプロセスや気をつけなければならない所を確認して、もし分からない所があったら、教えてもらう人に分かるまで聞くことも必要だと思います。

3) 真面目に仕事をやる態度に加えて、技術が熟練して行けば、仕事が思い通りになってミスも失敗も減って行くと思います。

これは私技能実習の現場で体験したことです。このミーティングから多くの事を学びました。特に、生活中も仕事でもミスや失敗は避けられないと思いますが、それから経験と教訓をくみ取って、再度、発生するのを免れるのはそれ以上に大切だと考えさせられました。これからも、一つ一つ経験をして技術の習得と仕事に対する日本人の考え方を学んで行きたいと思います。

## 佳作

### 成長の足跡

张 露

ZHANG LU

伏見蒲鉾株式会社／

新潟国際人材交流事業協同組合

子供の時、いつも考えていたのは、将来どこへ行ってどんな仕事をするかです。医者、教師、軍人になりたいと思っていましたが、大人になって全部違いました。今23歳になって、他の人たちと一緒に日本へ来ました。初めて工場に入ったとき、何もわからない私達に工場の先輩たちは、細かいことから教えてくれました。例えば、ひとつひとつの道具の意味と使い方や、使った後に置く場所もどこに置かきちんと守るように言われましたこの時私はどうしてなのかわかりませんでした。次の仕事のとときにその道具が取りやすいことに気づいて感謝しました。それに先輩たちに丁寧に教えてくれます。まず最初に日本語で言いますが、私達が理解できないと身振り手振りで何度もお手本を見せて教えてくれました。本当にありがとうございます。

日本に来る前に研修センターで日本のことを勉強しましたが、私の入る会社でどんなものを作っているのかとても興味を持って日本に来ました。会社では魚肉と野菜と一緒に混ぜたカマボコを作っています。味はとてもおいしいと思います。食べた人たちの体にもいいものだと思います。それに、ひとつひとつの食品をつくるために大切なことがあります。それはどうやったら消費者にとって安全で健康に良く、おいしいものになるかを考えて作られているかです。

私達はいつも真面目な態度で細かいところに

注意して仕事をしています。まず第一に服装からです。なぜなら服装が悪いと髪の毛がはみ出たり、落ちたりするからです。もし髪の毛が入った食品を消費者が買ったなら怒ってもう買ってくれないからです。だから私達はいつもお互いの服装を観察して注意します。第二に、手洗いです。手洗いをきちんとなしないと細菌が食品についてしまうことがあるからです。そして、もし細菌のついた食品を食べて体調が悪い人が大勢であると、会社にとってとても重大なことになります。最悪の場合倒産することもあると思います。だから、必ず手の洗い方を守ってきちんと洗います。

今この会社にいる私たちはちゃんとルールを守り、真面目な態度でひとつひとつ細かい仕事をやりぬきます。どんな人でも完全無欠な人間はいませんから、私たちが今やっていることは未来の自分にとってとても大事で役に立つと思っています。今はまだ基本的なことですが、積極的にまじめに取りくんでいます。最初はわからないことが多かったのですが、先輩たちに何度も聞いて少しずつわかるようになってきました。このように努力して着実に成長していきたいと思っています。

## 佳作

### 厳しい研修こそ、成長ができる

于 利

YU LI

株式会社湖国産業/  
協同組合ビジネス21

私は来日してもう5ヶ月が経つとしています。現場には中国人の先輩がいません。でも母国にいた頃に想像していたものと違い、日本人との関係は良いです。

実習現場での体験として話しとっどうしても大きく2種類に分けなければなりません。一つ目は仕事の体験、そして二つ目は日本人と一緒に働く体験です。

それではまず仕事の体験を話します。私の仕事は鉄筋コンクリート施行です。中国で鉄筋コンクリート施工と言えば、まず体力が必要で大変疲れる仕事だと思われています。

でも機械技術が発展した日本では、鉄筋コンクリート施工は中国での仕事よりも気軽にできます。なぜなら中国の中小企業では、日本のような多くの機械や機材がなく、どうしても人の手に頼ることになるのです。さらに日本での仕事は機械のおかげで人手が半分で済んでしまいます。例えば、コンクリートを混ぜる時、日本は同じ量の砂、セメント、水等を混ぜるだけで簡単にコンクリートの調合ができるが、そして時間も短縮できます。でも中国では材料を一つ一つ人の手で運び、一袋ずつ調合するのです。時間と体力の消耗と浪費は想像できるでしょう。

そして、そのプレッシャーを解消するために、「毎日勉強」と自分に言い聞かせ、休憩時にはすすんで日本人と話をしました。最初は簡単な

言葉から会話をして、次第に相手が何を言っているのかが分かるようになっていったのです。

2、3ヶ月もすると日本人と感情のつながりが出来上がるようになり、日本人の我々に対する態度が来日時と比べて明らかに変わっていることに気がつきました。

彼らは休憩のたびに私を呼び、時には冗談を言ってくるようになりました。こんなに打ち解けられるようになり、とてもうれしかったです。

私の感覚では、日本人はとても細かいと思っています。簡単に言えば、整理整頓や清潔清掃のことです。

工作中、何か問題が発生すると、「すぐに改善」と言われたり、ヘルメットを小さくコツンと叩かれたりします。

整理が出来ていない時、ヘルメットを何回も叩かれて、二度無いように、しっかりと覚えるように、とても厳しく教育されたこともありました。

これも自分や他人の身を守るため、そして安全のためであることが、分かってきました。これから「安全第一」を守って実習に取り組みます。有り難うございました。

## 佳作

### 中日文化の違いについて

趙 婷 婷

ZHAO TING TING

ディーピーティー株式会社/  
ティー・アイ・シー協同組合

時は矢のように早いものです。日本での生活はあっという間に過ぎ、二ヶ月が経ちました。中国で日本の文化やマナーを学習しましたが、自身が体験する事は違うものだ改めて実感しています。

まずは、日々の挨拶についてです。実習が始まってから沢山の方々と挨拶を交わしましたが、皆さん笑顔で明るく挨拶をしてくれます。その一人一人の笑顔が私の緊張を解してくれました。私は、挨拶には不思議な力があると思います。日々忙しく仕事に打ち込んでいる時はコミュニケーションが不足しがちですが、始業時の「おはようございます」と終業時の「お疲れ様でした」を元気よく笑顔で交わすだけでお互いの距離を縮め、心を暖める事ができます。面識のない異国の方でも、挨拶を交わすだけでその人の心を開く大きな力を持っているとは思いませんか？中国では「早上好」「您辛苦了」と言う挨拶がありますが、知らない人どころか自身の職場や知人でさえあまり言いません。更に、インターネットやスマートフォンの普及により、人との交流自体が少なくなっているのが現状です。私は職場の方々と仲良くなるために、自分から積極的に心を込めて挨拶をしています。

次に、規則についてです。実習初日に職場内でのモラルやルールについて教育を受けました。長い髪は束ねる事、制服からシャツをはみ

出してはいけない事、名札は指定の位置に付ける事などから、現場では静電対策で指サックを使用しますが指ごとに種類を使い分けています。初めは覚えることが多く、間違えないように行動することが大変で疲れて面倒くさいと思いました。ですが、少しずつではありますがなぜ守らないといけないかの意味が理解できた時、この細かい規制がとても大切なものだと感じ勉強になりました。

百聞は一見如かず。私が育った中国と日本の文化の違いに戸惑うことも多いですが、私自身の成長と楽しい実習生活を送るため日々学習していきます。

佳作

## 日本で実習生活を送る

公 茂 存

GONG MAO CUN

NC 東日本コンクリート工業株式会社／  
公益財団法人国際労務管理財団

時間は流れ、日本に来て8ヶ月。恋しい思いの祖国と家族との別れ。今、日本の生活に慣れました。日本に来たばかりの頃、自分が選んだ道だから、頑張って歩いてきました。

私たちの会社は茨城県筑西市にあり、宿舎は会社から遠くなく、自転車に乗って5分ほどです。自転車は私たちの日常の交通手段です。

会社には、17人の中国人実習生がいます。毎日午前8時から午後5時まで仕事です。仕事は楽しく、会社の日本人はとてもマナーが良いです。私たちの会社は大きくて、電柱を製造しています。今は残業がないので、気が楽です。

工場の班長はとてもおもしろくて、とてもお世話になっています。工場の大部分は機械化され、機械の音はとても大きくて、私たちは専門の耳栓を着用して耳を塞いでいます。毎日、業務に追われて、休んで、一日の仕事を完成させます。

寮に帰って、会社が私たちに準備したご馳走を食べます。毎日の食事も違うので、おいしいです。食堂の中には冷蔵庫、ガスレンジ、電子レンジ、自販機が用意され、自分で好きな食べ物を作れてとても便利です。私たちは、仕事帰りにバスルームに入って、気持ち良いです。寮のインターネットで映画を見たり、家族と話したりしています。少しも寂しくありません。

週休二日なので、休みの時、私たちはどこかへ遊びに行きます。始めの頃、日本のとても多

くの場所や知らないコースに旅行に行きました。私たちの日本語のレベルはあまり良くなかったですが、車に乗って、私と仲がよい日本語の勉強熱心な友達と旅行することにしました。日本の中華料理屋では、中国の名物は安いです。

私たちは、会社が用意した菜園で、多くの野菜、キュウリ、トマト、唐辛子、ねぎ、はくさい、ほうれんそう、じゃがいも、ピーナッツ、なすなどが植えられています。また、他の人はスイカ、メロンも植えて、うらやましいです。毎日とても楽しく過ごして、私はとても嬉しいです。

この会社に来て、ここでは、大家族のような感じで、日本人と私たちはとても友好です。日本に来て長くありませんが、私たちは中国で学ぶことができないたくさんことがあります。ここで、一生懸命勉強と仕事を頑張ります！

## 佳作

### 成長への道

丁 妍

DING YAN

旭電器工業株式会社／  
ELC 事業協同組合

今日は私と今度新しく変わるリーダーの、みづ穂さんと移動するラインの内一つのラインの仕事が終わる日です。4月の仕事が終わると私は違う職場へ行きます。リーダーさんがラインを綺麗に片付けて、移動する準備をします。私はその姿を見ると、急にさびしい気持ちになりました。ここでの1年半の仕事が本当に終わります。この私を成長させてくれた場所と離れるさみしい気持ちです。

今の仕事に入ったとき、私はぜんぜんなれずに、毎日小さなポカミスをしました。ミスをする緊張してしまい、またミスをする。毎日がこんな悪いサイクルでたくさん怒られました。私も怒られることで痛みを感じました。でもこれは、人生の中で必ず通る道です。

私は自分にこう言いました。『角がある石が丸くピカピカになる為には、長い間水の中で流され、洗われます。ピカピカになるには必ず痛みがある』綺麗で角がない石になるために今があるのだと。

今、私のリーダーの陽子さんは、この一年半で私を成長させてくれました。陽子さんは厳しく、優しい人です。厳しときも優しいときも、すごく新鮮に感じます。ミスをしたときは厳しい顔で怒られます。でも仕事が上手に出来たときは笑顔でほめてくれます。角がある石のような私が、陽子さんの厳しさと優しさの中で、少し痛いけど、成長することが出来ました。

仕事で箱入れ作業を覚えたすぐの頃、ラベルの準備が必要で、ラベルは袋に入って台紙に十枚のラベルがついています。ラベルを使い終わると5枚の端数が残りました。私はあと百六十枚のラベルが必要なので、端数5枚は使わずに、新しい袋から台紙十六枚（百六十枚のラベル）を取り出しました。しかし陽子さんは私のやり方は違うと言って新しいやり方を教えてくれました。正しいやり方は残った5枚と新しいロットのラベルから百五十五枚を準備するやり方です。最初の頃はこのやり方が良く分かりませんでした。なぜ5枚の端数を使い、また端数のラベルを作る？もともと最初の5枚を残していればシンプルなのに、なんで面倒なことをするのか？

それは、正しく順番通りに使うことが大事で、万が一、部品（ラベル）に不良があった時、順番通りに使えば、使った日がすぐ分かり、探せることが出来る。このように習慣や考え方の違いで油断をするとミスが出ました。陽子さんは他の人と違って、厳しく最後まで正しいことを教えてくれました。だから私は少し痛いけど成長できました。ありがとう陽子さん。

日本に来る前に私は、立派な人になる夢を持っていました。しかしだんだんと成功の道から離れていました。しかし、日本に来て、たくさんの方の教育や指導で成功することに、近づいている気がします。私を成長させてくれてありがとう。陽子さんありがとう。そして職場のみなさんにありがとう。

## 佳作

### 日本での仕事と生活

罗 思 锐

LUO SI RUI

伏見蒲鉾株式会社／  
新潟国際人材交流事業協同組合

私は日本で仕事を始めて一年が経ちました。私の勤務先は伏見蒲鉾株式会社です。会社は設立五十周年を迎えた企業です。会社の商品はとても有名で、国内のたくさんの売り場で売られていることを私は誇りに思っています。

私は伏見蒲鉾の本社工場で仕事をしています。本社工場では製造部門と包装部門の二部門があり、私は包装部門で仕事をしています。包装部門にはたくさんの従業員がいて、さまざまな方がいます。例えば、優しい人、厳しい人、可愛い人などがいます。毎日みんな一生懸命仕事をしています。

私たちは毎朝九時に始業します。はじめに一緒に仕事をする人たちと挨拶をします。私は礼儀正しくなりました。挨拶のときはみんな笑顔です。笑顔で挨拶すると気持ちが良いです。

私たちの工場は衛生管理と安全対策がしっかりとしています。工場へ入るときはしっかりと手洗いをします。また髪の毛はすべて帽子に収めます。髪の毛が少しでも出ていると良くありません。品質管理担当がいつも工場を見回り、髪の毛が出ていないか、道具がきれいかなどのチェックに来ます。

工場の繁忙期を過ぎで落ち着いたので、毎日たくさん日本語の勉強をしています。日本語は他の従業員や、同じく中国から来た先輩にも教えてもらいます。みなさんはとても根気良く教えてくれます。私は覚えが悪いのですが、みな

さんから細かい心配りで教えてもらいました。

私たちは月に八日から十日ほど休日があります。私たちは会社から油とお米をもらっています。会社に良くしてもらい、とても感謝しています。この一年の中で、仕事や研修以外にも遊びに連れ出してもらったりして本当の家族のように過ごしました。

会社に入り一年が経ち、私の生活も仕事もとても変わりました。大人になったなと思います。自分のことは自分で考えて他人に頼らず出来るようになりました。

礼儀と責任感を教えていただいた会社に私はとても感謝しています。

## 佳作

### 一生忘れない人

文 祖 兰

WEN ZU LAN

合資会社ピュアクリーン/  
PNJ 事業協同組合

縫製の技術が未熟だった私にとって、日本に来て勉強することは長い間の夢でした。2年が過ぎた今でも、自分が日本で仕事をしていることが信じられない心境です。日本に来た最初の頃は何もかもが大変でした。社員の人から縫い方を教わってもなぜかミスをしてしまいます。ですから周りの人達にはたくさんの迷を掛けました。

その中でも私が一番迷惑を掛けた人は、私の班の班長さんです。班長さんの指導はとても厳しいです。悪いことに私の性格は自分でもわかるほど気が短いです。班長さんは私に教えた後にいつも「わかりましたか？」と聞くのですが、気分がよくない私の返事はとても小さいものでした。そして、その態度も決してよいものではありませんでした。

ある時、アイロンでの作業を教えてくれた時のことでした。襟ぐりを1cm程度に折らなければならないのですが、私は時々1.1cmに折っていました。それを見た班長さんは「これではだめです。このままだと次の工程の人がやり難いです」と言って、私にもう一度やり直しをさせました。班長さんの言ったことが、その時の私には全く理解できませんでした。私の心の中はモヤモヤしていました。ですから日本で技術を勉強するためにやっと来ることができたことなど、すっかり忘れてしていました。その日の夜に友達から聞いたことですが、その1mmの

違いでも次の工程の人に迷惑が掛かるとのことでした。私はこうして日本の品質の厳しさを毎日班長さんから教わることになりました。

班長さんは毎月、本社の会議に参加しますが、ある日いつものように会議から帰って来た班長さんの顔がとても悲しそうに見えました。その理由は私達の班の生産額が全体の中で一番下だったということでした。私達はそのことを聞いてとてもショックを受けました。私はその原因が自分にもあると感じました。その時、自分自身も頑張らないと班全体にも迷惑を掛けてしまうと思いました。

私は日本に来てからも、技術に対する未熟さが原因で考え方にも甘えがありました、私はそのことに気付きました。私は他人よりも努力することで班の役に立ち、そして班長さんの力になろうと考えました。それから毎日少しずつですが、練習を重ねて行き自分の態度も改めるようにしました。

ある時、私の行動を見ていてくれた班長さんは、「その調子で頑張ってね」と励ましの言葉を掛けてくれました。本当に嬉しかったです。そして、これからも努力を続けていく自信にもつながりました。

私の縫製技術はまだまだ発展途上です。そして、私がこれからも技術を高めていく上で班長さんは切っても切れない存在です。私は日本に来て班長さんの下で仕事をする事ができて、本当によかったと思っています。班長さんは私の人生で忘れることのできない大切な人です。

## 佳作

### 「平仮名」という伊呂波から教訓

レ ティ モン トウ オン  
LE THI MONG TUONG

フルヤ工業株式会社／  
国際交流事業協同組合

私は日本に来て、もう2年になりました。日本に来る前には、私がいつ日本に来れるのか分かりませんでした。だから、日本に来て幸せです。

研修生として、日本で働けるのは3年間だけです。またたく間に2年が経ちました。日本にいる期間は私にとって、日本人の仕事のやり方を学び、経験を蓄積できる意味のある時間です。その中で私が一番印象に残っているのは組合で勉強した時のことです。

私のグループは2年前の冬に日本に来ました。初めてのこの様な寒い天候に我慢するのは大変でしたが、希望に心が熱くなるのを感じました。日本に来る前はベトナムの日本語学校でかなり長く勉強していましたが、日本人と接触する機会はとても少なく、日本語での会話はあまりできませんでした。だから、組合で日本語と日本の文化を勉強する時間は困難がたくさんありました。

組合の勉強では日本語と日本の文化以外に日本会社の働くルールについても教えてくれました。ある日、先生が私達に「今から平仮名をノートに書いて下さい」と言われました。その時、私はそんな簡単な事を提出しなければならないのかを疑問に感じました。「平仮名はもう誰でも書けるよ」と思いました。しかし、実際書いた時、ほとんど皆は書けましたが、私だけ何回も何回も正しく書くことができなかつたので

す。私はその時先生に怒られました。「あなたはその事を簡単に考えたでしょう。そして、書く事は誰でも書けるけど、どの様に正しく書くかをあなたは知らないでしょう。仕事に対しても、その事と一緒に。小さい事でも真面目な態度取り組むと段々よくなるよ」と説明されました。私は本当に恥しいと感じました。それ以降、先生のおかげで、会社での仕事がちゃんとできる様になりました。

私が働いている会社はプラスチック製品を製造しています。二つ工場があり、今、医療に関する器具を製造しています。仕事はあまり労働ではないのですが、ミスが発生しやすいので用心深く気配りをしなければなりません。毎回、ストレスになると、先生の話思い出し、もっと頑張ろうと決心しています。

「果実を食べると、木を植えた人を覚えないと。」というベトナムの諺があります。私は私の一生の中でいい人から応援頂いて、心から感謝しています。本当にありがとうございます。日本にいる時間は残り半年程だけです。2年の間で日本の季節には別の美しさがあると実感しました。今から将来までもし困難に会ったとしても、楽観的積極的態で困難に立ち向えます。日本に来た事は私が選んだ道ですから。帰国した時は日本で習われた事がある実習生に伝えたいと思っています。日本にいる3年間は忘れられない私のずっときれいな一生の記念になることを。

## 佳作

### 平凡なこと

郭 学 峰

GUO XUE FENG

有限会社アグリセンター都城/  
都城農業協同組合

私は、2012年3月22日に日本に来て、3年目になりました。時間の経過をととても早く感じ、あと1年で帰国します。私は日本で学んだことは、たくさんありますが、特に最近行われた、会社の専務の送別会で、必ず忘れてはいけないことを教わりました。それは、仕事に対する態度、意欲です。

送別会は盛大に開催され、とても感動的で、私たち研修生の心に残りました。

私は、事務の仕事は、会議をしたり、会社の畑を巡回して検査する指導者だと思っていましたが、実際はそれだけではありませんでした。

専務から、会社で経営している面積は200ヘクタールほどあると聞きました。毎年草が長くなるとビーパーを使って草刈りをします。この仕事はとても大変な作業です。でも、専務もこの作業をします。ビーパー作業は私たちには体があちこち痛くなりますが、専務は何も言いません。専務は、朝、出会ったとも、背筋をしゃんとてて、ビーパーを持って、いつものように作業に出かけます。仕事が終わった後、全身土まみれになって、疲れて背中が前に曲がっていたことを思い出します。

そのことを何年、何十年も続けているかは分かりませんが、送別会の主任たちにあいさつで、専務のこれまでしてきたことを聞いて拍手が鳴り止みませんでした。

私は、心の中で、専務は指導者なのにどうし

て、そのような仕事をするのかわかりませんと思いました。

単純な仕事を、毎日継続してする人偉い人だと思いました。

普通の仕事、平凡な仕事を私たちはどれくらい続けてできるか？

この精神は、私たちに感動させ、私たちに教え、どんな仕事でもする専務姿は、私たちの手本として見習いたいです。

皆の歓声と拍手の中、私たちは感動し、そして学びました。私は、食料を大切にする精神、そして、日本人の仕事に対する精神は、帰国してからも、友達に伝え、子供に伝え、私自身ものこ精神を持ち続けたいと思います

2014年外国人技能実習生・研修生日本語作文コンクール優秀作品集

---

2014年10月発行

非売品

編集・発行 公益財団法人 国際研修協力機構  
〒105-0013  
東京都港区浜松町1-18-16 住友浜松町ビル 4階  
電話 03-6430-1100 (代表)  
FAX 03-6430-1112  
ホームページ <http://www.jitco.or.jp/>

---

**JITCO**